

令和2年度
調布市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書

令和3（2021）年3月

調布市

目次

第1章 調査概要.....	3
1. 調査の目的.....	3
2. 調査の方法.....	3
3. 回収状況.....	3
4. 報告書の見方.....	3
5. 調査項目.....	4
6. 地域について.....	6
第2章 調査結果.....	9
問1 あなたについて.....	10
問2 あなたのご家族や生活状況について.....	12
問3 からだを動かすことについて.....	15
問4 食べることについて.....	21
問5 毎日の生活について.....	27
問6 地域での活動について.....	38
問7 たすけあいについて.....	42
問8 健康について.....	45
問9 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	49
問10 その他、福祉施策について.....	50
資料編.....	63

第 1 章

調査概要

第1章 調査概要

1. 調査の目的

要介護状態になる前の高齢者について、要介護状態になるリスクの発生状況、各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の抱える課題を特定し、高齢者総合計画の策定、進捗管理、事業評価のための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の方法

調査票作成	国が示した必須項目（39 設問）をもとに、調布市独自の設問を加えた「令和2年度調布市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票」を作成。
調査対象者	令和2年度10月1日時点、市内在住で65歳以上の要介護認定を受けていない方から、各福祉圏域200人（計1,600人）を無作為抽出。
調査方法	配布・回収は、郵送により実施。
調査期間	令和2年12月28日～令和3年1月22日

3. 回収状況

発送数（件）	回収数（件）	回収率（％）
1,600	1,130	70.6％

4. 報告書の見方

○集計表やグラフの％表示は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100％にならない場合がある。

○複数回答の設問では、回答比率の合計が100％を超える場合がある。

○構成比（％）の比較における差は、原則として「…ポイント」と表現している。

○調査結果の考察文中にある二重括弧（『・・・』）は2つの選択肢を合わせたことを表す。

（例：「とても不安である」＋「やや不安である」→『不安である』）

○設問において、年代、地域など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図・表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値とは一致しない。

5. 調査項目

調査内容は国の「調査票案（必須項目＋オプション項目）」を基本としている。調布市独自設問に「○」がある質問は調布市の独自の質問である。

大項目	質問区分	調査票内 問番号	国の項目		調布市 独自 設問
			基本 項目	オプショ ン 項目	
表紙	記入日	◆	○		
	記入者	◆	○		
問1 あなたに ついて	年齢	問1(1)			○
	性別	問1(2)			○
	居住地	問1(3)			○
	現在の要介護度	問1(4)			○
問2 あなた のご家族 や生活 状況に ついて	家族構成	問2(1)	○		
	日中1人になることがあるか	問2(1)①			○
	介護・介助の必要の有無	問2(2)	○		
	現在の暮らしの経済的状況	問2(3)	○		
問3 からだを 動かすこ とにつ いて	現在の住まいの形態	問2(4)		○	
	階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか	問3(1)	○		
	椅子から立ち上げられるか	問3(2)	○		
	15分位続けて歩いているか	問3(3)	○		
	過去1年間の転倒の経験	問3(4)	○		
	転倒に対する不安	問3(5)	○		
	外出の状況	問3(6)	○		
	外出の回数が減っているか	問3(7)	○		
	外出を控えているか	問3(8)		○	
	外出を控えている理由	問3(8)①		○	
問4 食べるこ とにつ いて	外出する際の移動手段	問3(9)		○	
	身長・体重	問4(1)	○		
	6か月間で2～3kg以上の体重減少があるか	問4(2)		○	
	固いものが食べにくくなったか	問4(3)	○		
	お茶や汁物でむせることがあるか	問4(4)		○	
	口の渇きが気になるか	問4(5)		○	
	歯磨きを毎日しているか	問4(6)		○	
	歯の数と入れ歯の利用状況	問4(7)	○		
	入れ歯の手入れをしているか	問4(7)①		○	
	噛み合わせは良いか	問4(8)		○	
誰かと食事をとる機会があるか	問4(9)	○			
食事の確保のために利用しているサービス ① 弁当の配食サービス ② 出前・デリバリーサービス ③ 食材の宅配サービス ④ コンビニエンスストア	問4(10)			○	

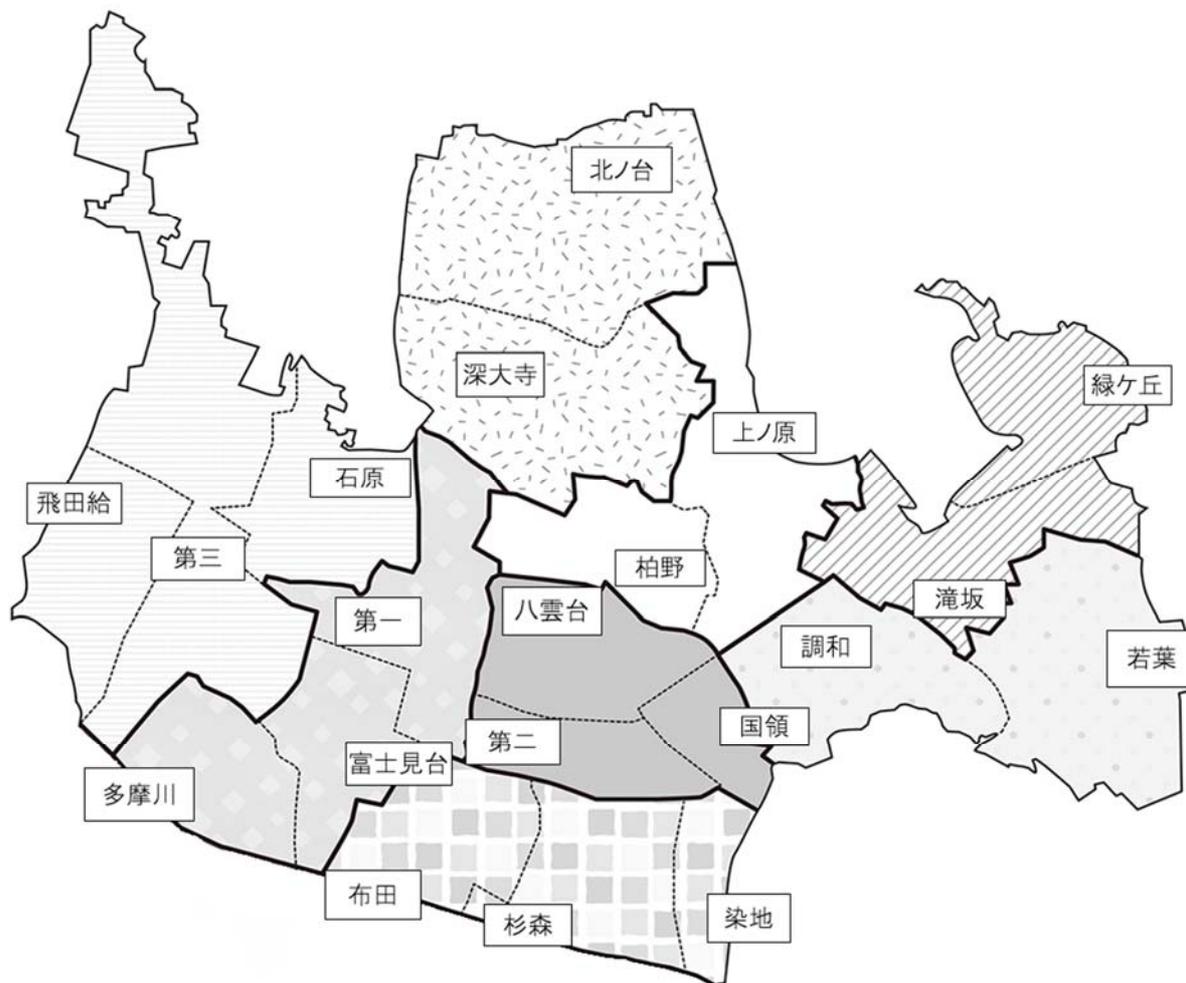
大項目	質問区分	調査票内 問番号	国の項目		調布市 独自 設問
			基本 項目	加 ^ナ の ^ヨ 項目	
問5 毎日の生活 について	物忘れが多いと感じるか	問5(1)	○		
	周りから物忘れがあるとされるか	問5(2)			○
	市の発信する情報をどのようにして入手しているか	問5(3)			○
	日付がわからない時があるか	問5(4)		○	
	バスや電車を使って1人で外出できるか	問5(5)	○		
	外出する際どこまででかけることが多いか ① 買い物 ② 趣味・習い事 ③ かかりつけ医等の病院	問5(6)			○
	外出の際何を使って移動するか ① 買い物 ② 趣味・習い事 ③ かかりつけ医等の病院	問5(6)①			○
	自分で食品・日用品の買い物をしているか	問5(7)	○		
	自分で食事の用意をしているか	問5(8)	○		
	自分で請求書の支払いをしているか	問5(9)	○		
	自分で預貯金のおし入れをしているか	問5(10)	○		
	友人の家を訪ねているか	問5(11)		○	
	家族や友人の相談にのっているか	問5(12)		○	
	趣味があるか	問5(13)		○	
生きがいがあるか	問5(14)		○		
どのように生きがいを見つけたか	問5(14)①			○	
問6 地域での 活動に ついて	グループ、クラブ、会にどのくらいの頻度で参加しているか ① ボランティアのグループ ② スポーツ関係のグループやクラブ ③ 趣味関係のグループ ④ 学習・教養サークル ⑤ 10の筋力トレーニングなどの介護予防のための通いの場 ⑥ 老人クラブ ⑦ 町内会・自治会 ⑧ 収入のある仕事	問6(1)	○ ①~⑧		
	地域づくりの活動に参加者として参加してみたいか	問6(2)	○		
	地域づくりの活動に企画・運営として参加してみたいか	問6(3)	○		
	参加してみたい地域活動	問6(4)			○
問7 たすけあい について	心配事や愚痴を聞いてくれる人	問7(1)	○		
	心配事や愚痴を聞いてあげる人	問7(2)	○		
	看病や世話をしてくれる人	問7(3)	○		
	看病や世話をしてあげる人	問7(4)	○		
	家族や友人・知人以外で相談する相手	問7(5)		○	
問8 健康に ついて	自身の健康状態	問8(1)	○		
	現在どの程度幸せか	問8(2)	○		
	この1か月、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったり することがあったか	問8(3)	○		
	この1か月、物事に対して興味がわかない、心から楽しめない ことがあったか	問8(4)	○		
	飲酒の状況	問8(5)		○	
	喫煙の状況	問8(6)	○		
	現在治療中、後遺症のある病気はあるか	問8(7)	○		
問9 認知症	認知症の症状がある、または家族に症状がある人がいるか	問9(1)	○		
	認知症に関する相談窓口を知っているか	問9(2)	○		

大項目	質問区分	調査票内 問番号	国の項目		調布市 独自 設問
			基本 項目	オプション 項目	
問 10 その他、 福祉施策に ついて	どこで最期を迎えたいか	問 10 (1)			○
	自宅で最期を迎えることができると思うか	問 10 (1) ①			○
	自宅で最期を迎えることができないと考える理由	問 10 (1) ②			○
	地域包括支援センターの認知度	問 10 (2)			○
	介護予防体操「10の筋力トレーニング」の認知度	問 10 (3)			○
	インターネットの利用	問 10 (4)			○
	インターネットの利用頻度 ① パソコン ② スマートフォン ③ タブレット	問 10 (4) ①			○
	インターネットを利用していない理由	問 10 (4) ②			○
	スマホやアプリの使い方講座への参加意向	問 10 (4) ③			○
	高齢者福祉や介護保険制度への意見（自由回答）	問 10 (5)			○

6. 地域について

本報告書においては、福祉、教育、地域コミュニティ等の共通基盤である小学校区を基礎とし、それらの複数で構成される8つの圏域（中学校区規模）を福祉圏域として定め、集計している。

■福祉圏域の地域区分 下記 内の記載は 小学校区の名称です。



第 2 章

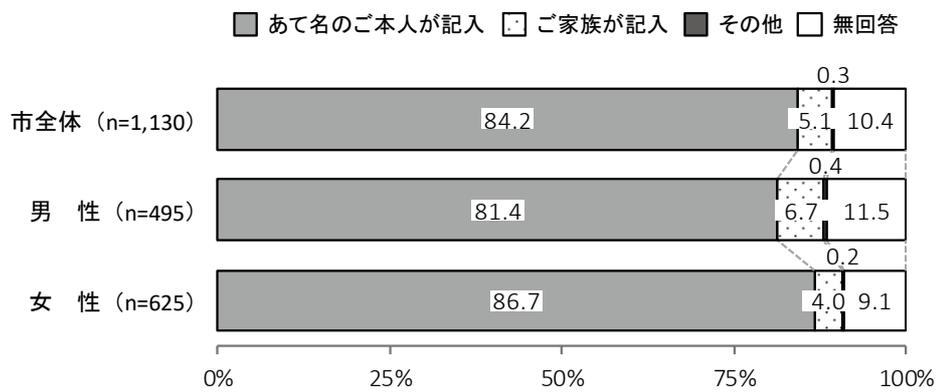
調査結果

第2章 調査結果

記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

図表1 記入者（全体・性別）



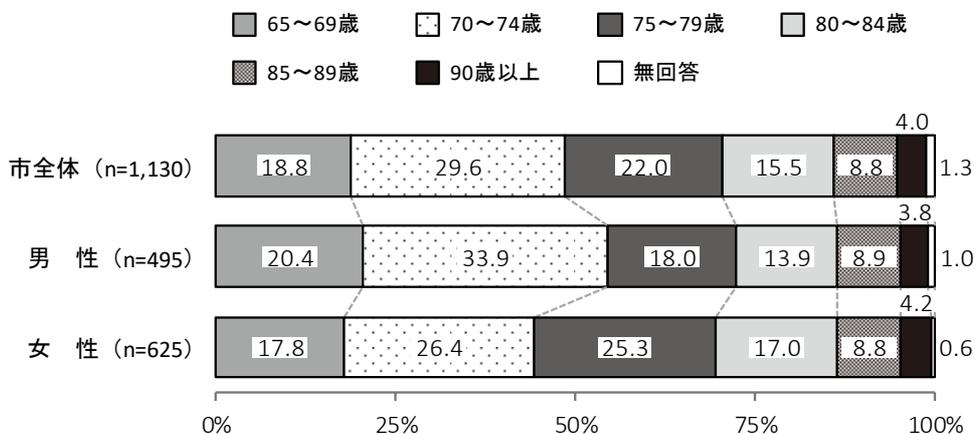
問1 あなたについて

年齢

(1) 年齢

全体では『75歳未満』の割合が48.4%、『75歳以上』の割合が50.3%となっている。
性別にみると、男性では『75歳未満』が女性より10.1ポイント高くなっている。

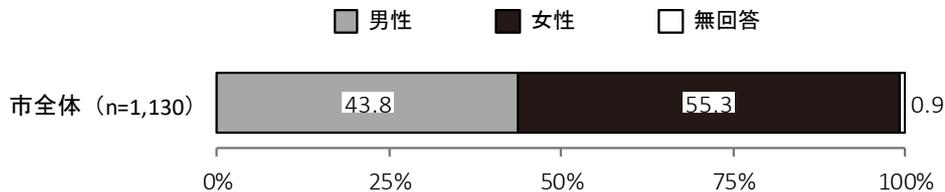
図表 1.1 回答者の年齢（全体・性別）



性別

(2) 性別

図表 1.2 回答者の性別

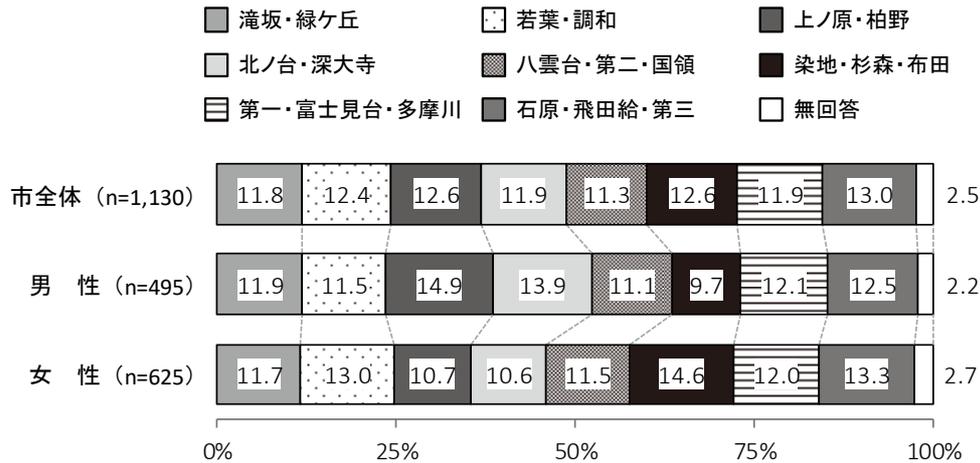


居住地（圏域）

（3） お住いの地域はどこですか。【町名】，【丁目】をご記入ください。

男性では「上ノ原・柏野」が女性より 4.2 ポイント高く、女性では「染地・杉森・布田」が男性より 4.9 ポイント高くなっている。

図表 1.3 居住地（圏域）（全体・性別）

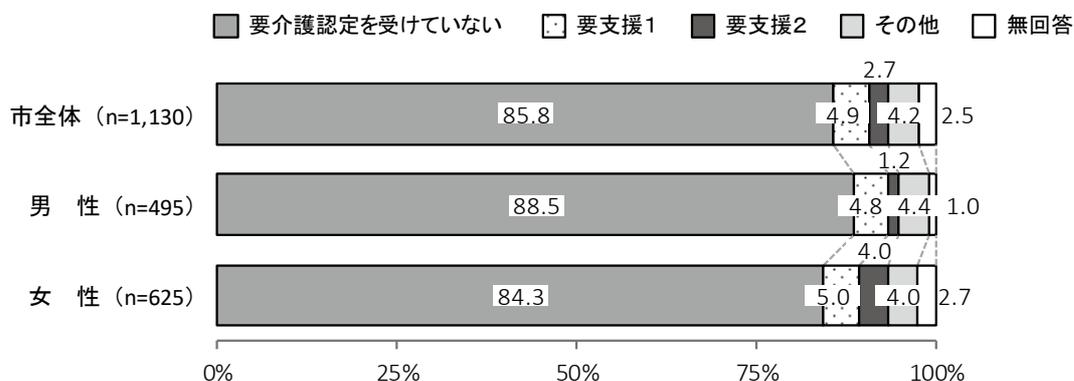


現在の要介護度

（4） あなたの現在の要介護度をお答えください（〇は1つ）

前年と比較して、「要介護認定を受けていない」が男性で 3.3 ポイント、女性で 2.2 ポイント減少している。

図表 1.4 要介護度（全体・性別）



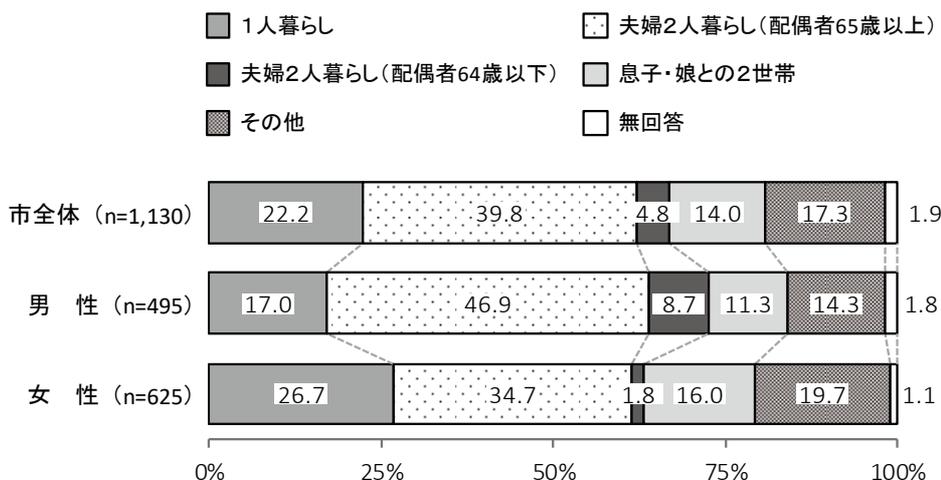
問2 あなたのご家族や生活状況について

家族構成

(1) 家族構成をお教えてください (〇は1つ)

男性では『夫婦2人暮らし』が女性よりも19.1ポイント高く、女性では「1人暮らし」が男性より9.7ポイント高くなっている。

図表 2.1 家族構成 (全体・性別)

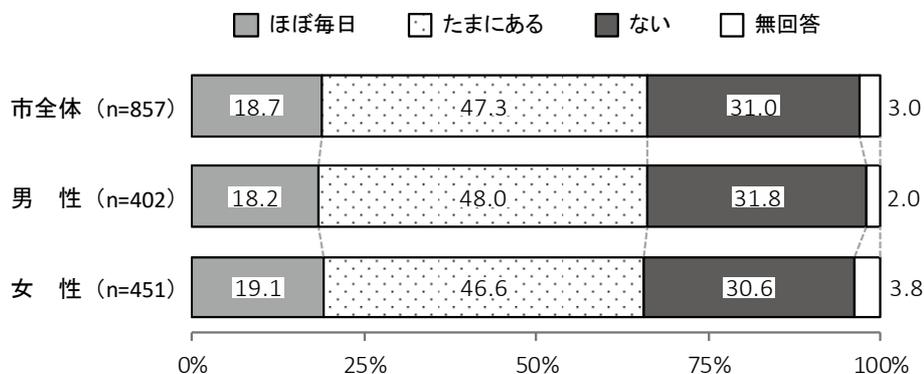


日中1人になることがあるか

【(1)で「2~5」に〇をつけた方にうかがいます】

(1) -① 日中、1人になることがありますか (〇は1つ)

図表 2.1.1 日中1人になることがあるか (全体・性別)

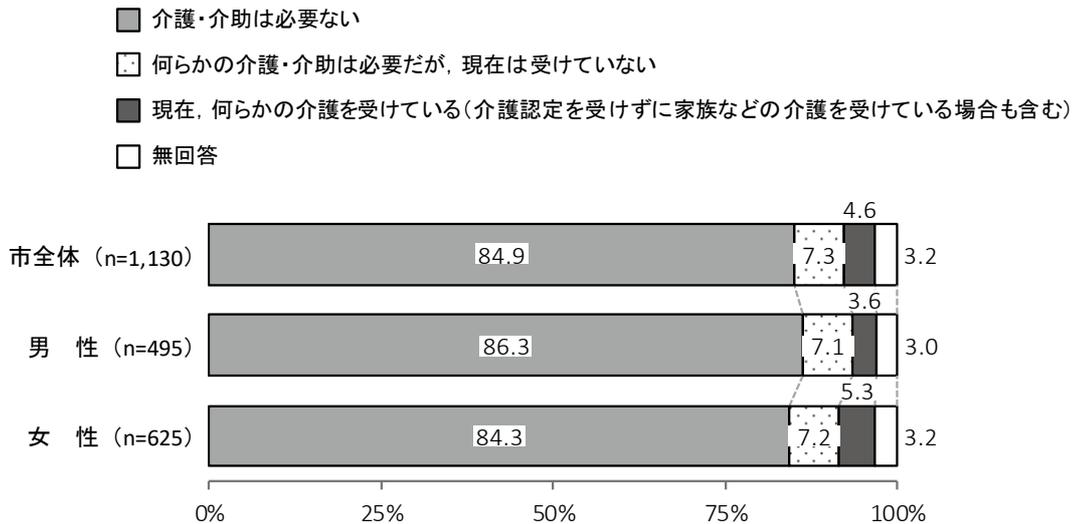


介護・介助の必要の有無

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (〇は1つ)

前年と比較して、全体では「介護・介助が必要ない」が2.1ポイント減少している。

図表 2.2 介護・介助の必要性の有無 (全体・性別)

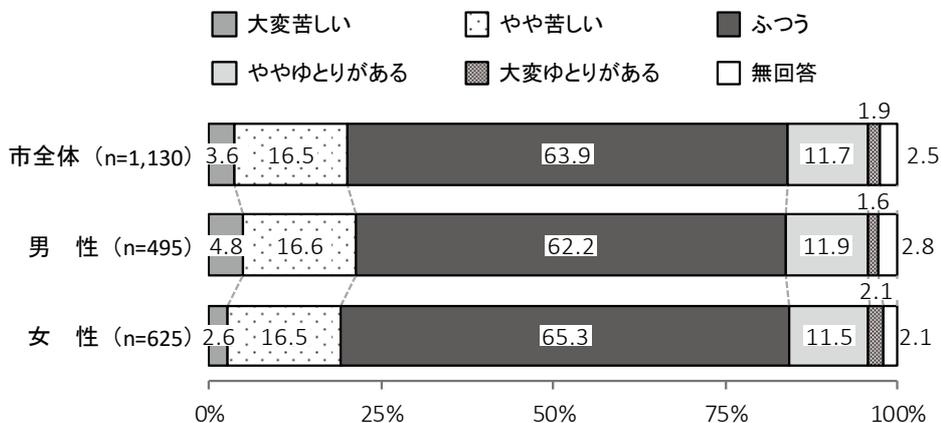


現在の暮らしの経済的状況

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇は1つ)

全体では『苦しい』の割合が20.1%となっていて、前年と比較すると2.5ポイント減少している。
性別にみると、男性では『苦しい』が女性より2.3ポイント高くなっている。

図表 2.3 現在の暮らしの経済的状況 (全体・性別)



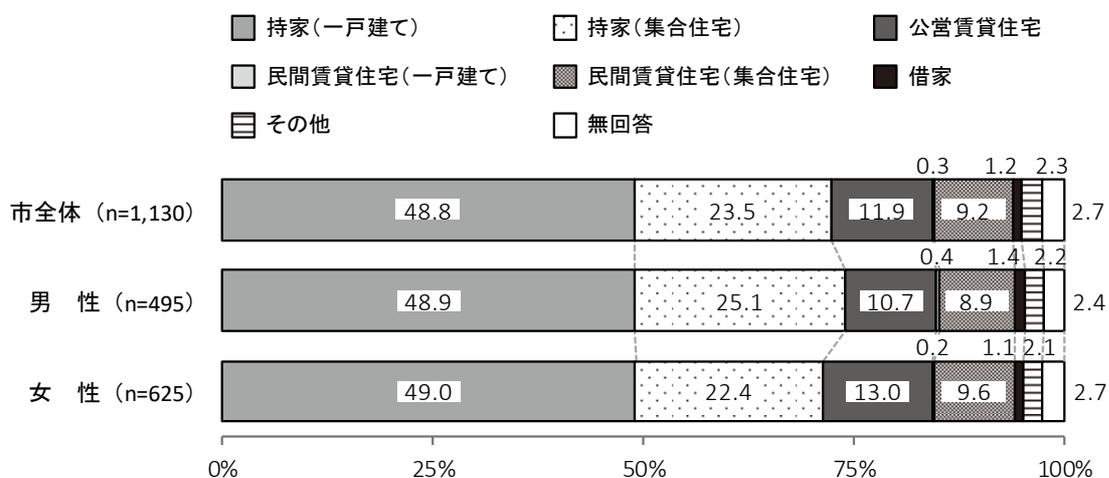
現在の住まいの形態

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (〇は1つ)

男性では「持家(集合住宅)」が女性より2.7ポイント高く、女性では「公営賃貸住宅」が男性より2.3ポイント高くなっている。

前年と比較して、全体では「持家(一戸建て)」が5.1ポイント減少し、「持家(集合住宅)」が1.7ポイント増加している。

図表 2.4 現在の住まいの形態 (全体・性別)

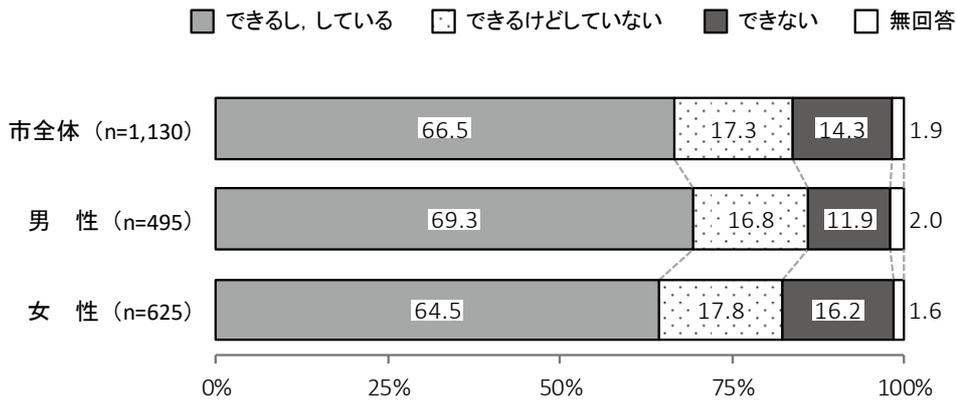


問3 からだを動かすことについて

階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)

図表 3.1 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか (全体・性別)

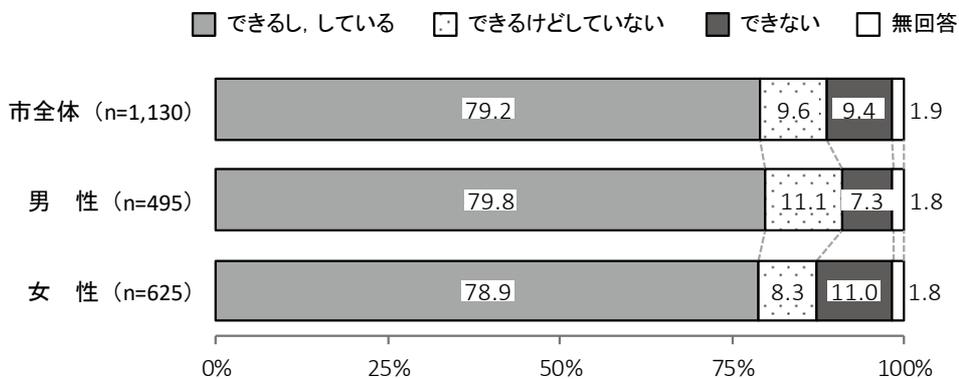


椅子から立ち上げられるか

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

前年と比較して、男性では「できるし、している」が3.1ポイント減少している。

図表 3.2 椅子から立ち上げられるか (全体・性別)

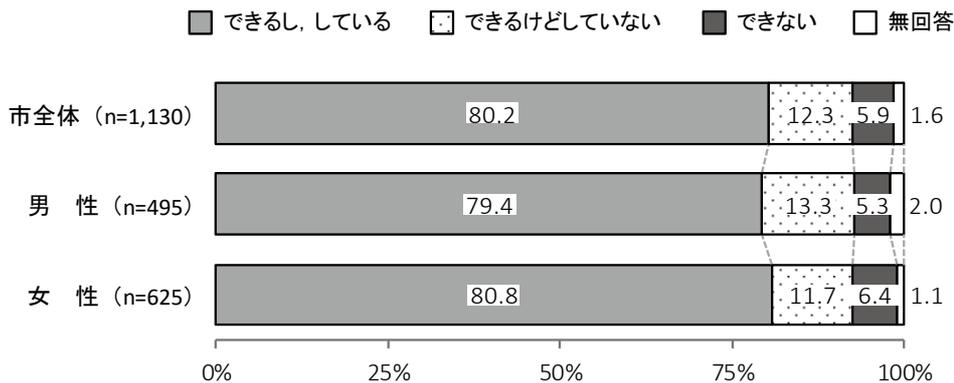


15分位続けて歩いているか

(3) 15分位続けて歩いていますか (〇は1つ)

前年と比較して、「できるし、している」が男性で4.7ポイント、女性で3.1ポイント減少している。

図表 3.3 15分位続けて歩く能力の有無 (全体・性別)

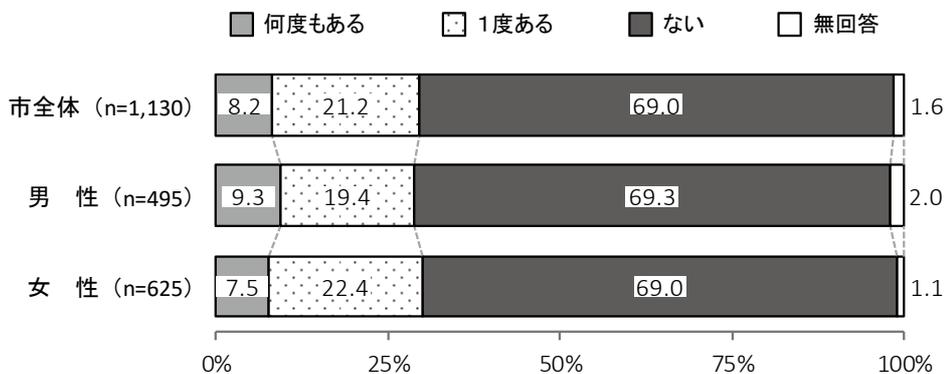


過去1年間の転倒の経験

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (〇は1つ)

前年と比較して、男性では「何度もある」が2.3ポイント上昇している。
全体では『ある』の割合が29.4ポイントになっていて、前年と比較すると1.8ポイント減少している。

図表 3.4 過去1年間の転倒の経験 (全体・性別)

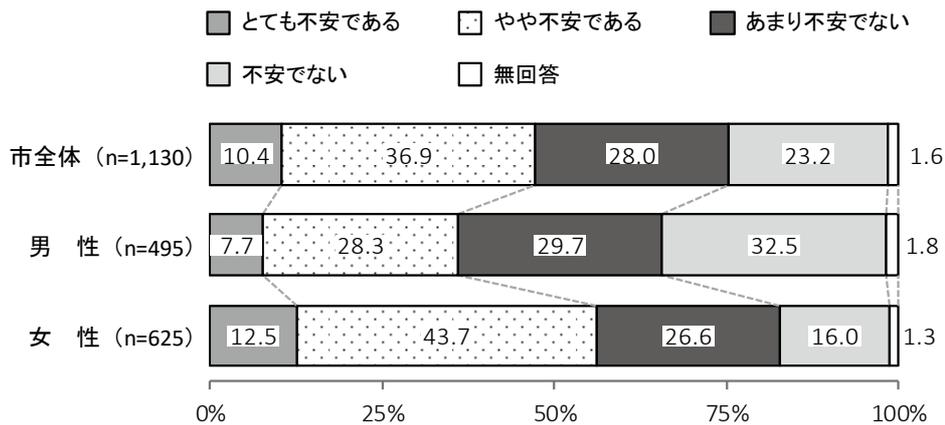


転倒に対する不安

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (〇は1つ)

女性では『不安である』が男性より 20.2 ポイント高く、男性では「不安でない」が女性より 16.5 ポイント高くなっている。

図表 3.5 転倒に対する不安 (全体・性別)

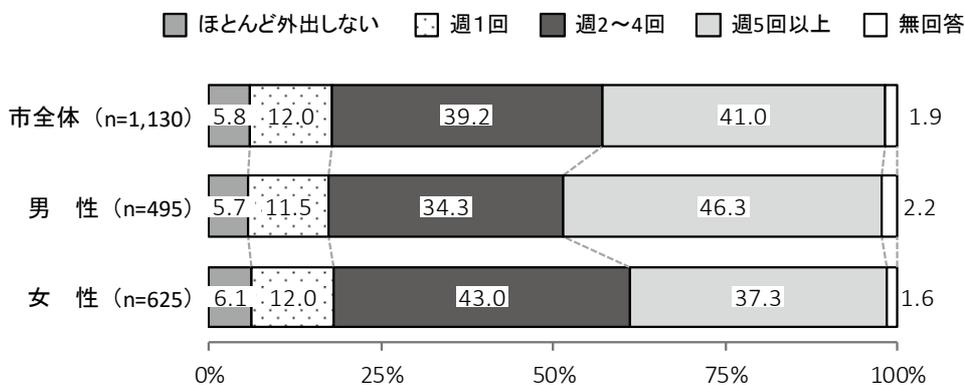


外出の状況

(6) 週に1回以上は外出していますか (〇は1つ)

男性では「週5回以上」が女性より 9.0 ポイント高くなっている。
前年と比較して、全体では「週5回」の割合が 5.8 ポイント減少している。

図表 3.6 外出の状況 (全体・性別)

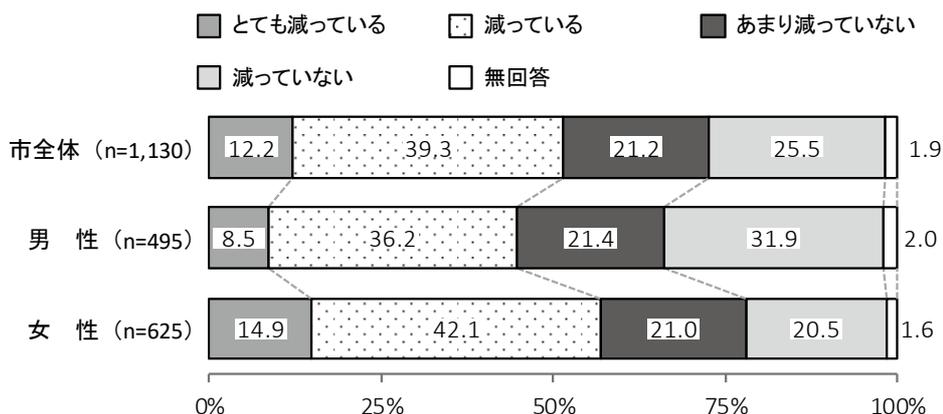


外出の回数が減っているか

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (〇は1つ)

女性では『減っている』が男性より12.3ポイント高くなっている。
前年と比較して、全体では『減っている』が31.3ポイント増加している。

図表 3.7 外出の回数が減っているか (全体・性別)

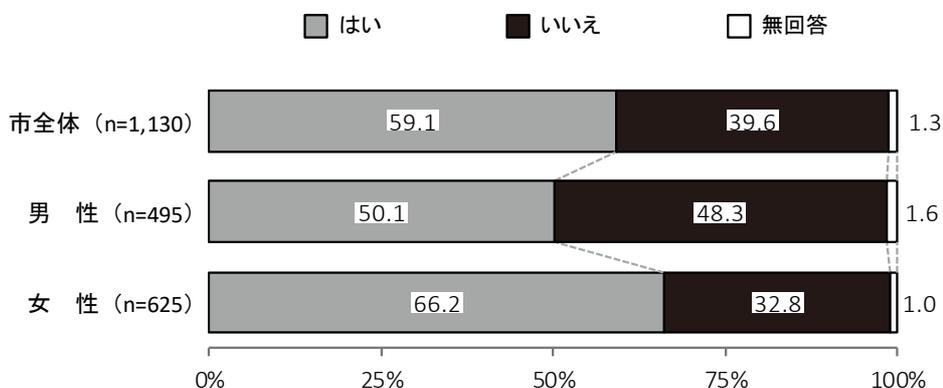


外出を控えているか

(8) 外出を控えていますか (〇は1つ)

前年と比較して、「はい」が男性で36.8ポイント、女性で49.4ポイント、全体で43.6ポイント増加している。

図表 3.8 外出を控えているか (全体・性別)



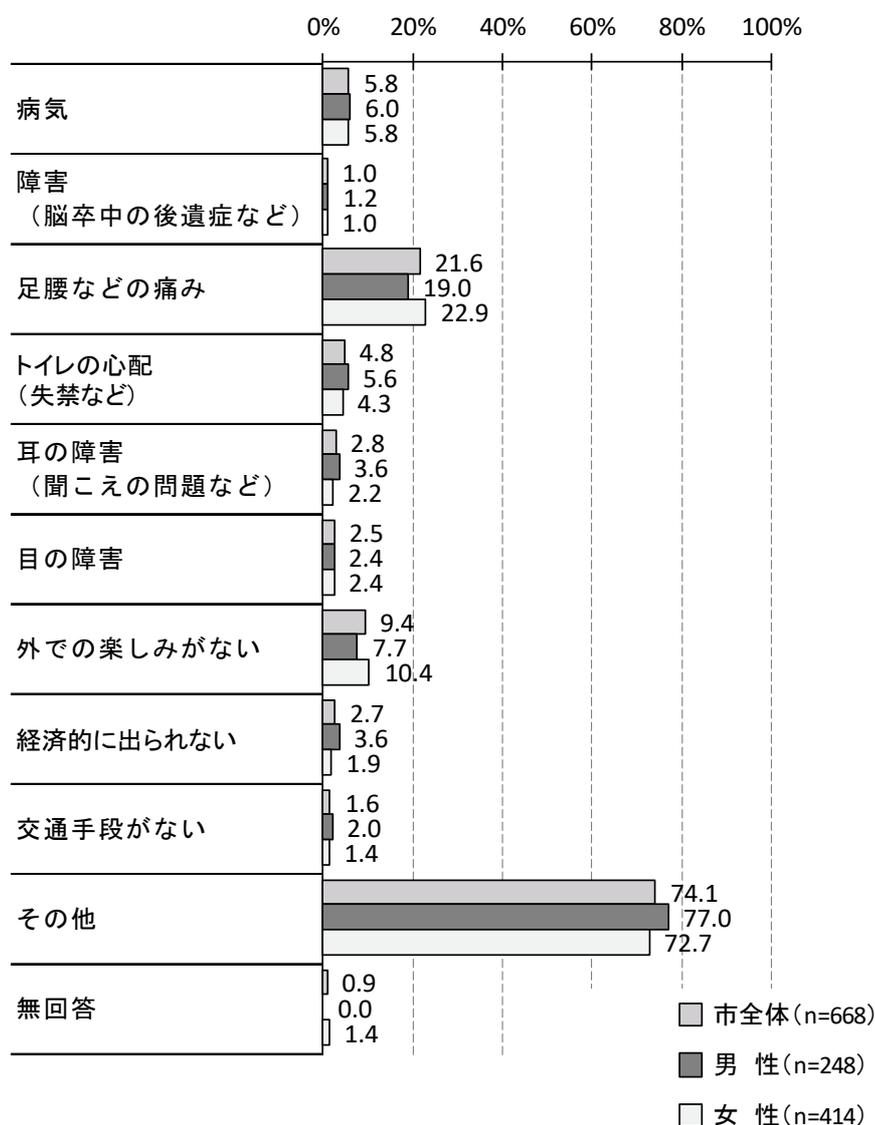
外出を控えている理由

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)に○をつけた方にうかがいます。】

(8)-① 外出を控えている理由は、次のどれですか(○はいくつでも)

前年と比較して、「その他」が全体で52.9ポイント増加している。一方、全体では「病気」が12.4ポイント、「足腰などの痛み」が37.2ポイント、「トイレの心配」が15.2ポイント、「経済的に出られない」が10.0ポイント減少している。

図表 3.8.1 外出を控えている理由(全体・性別)



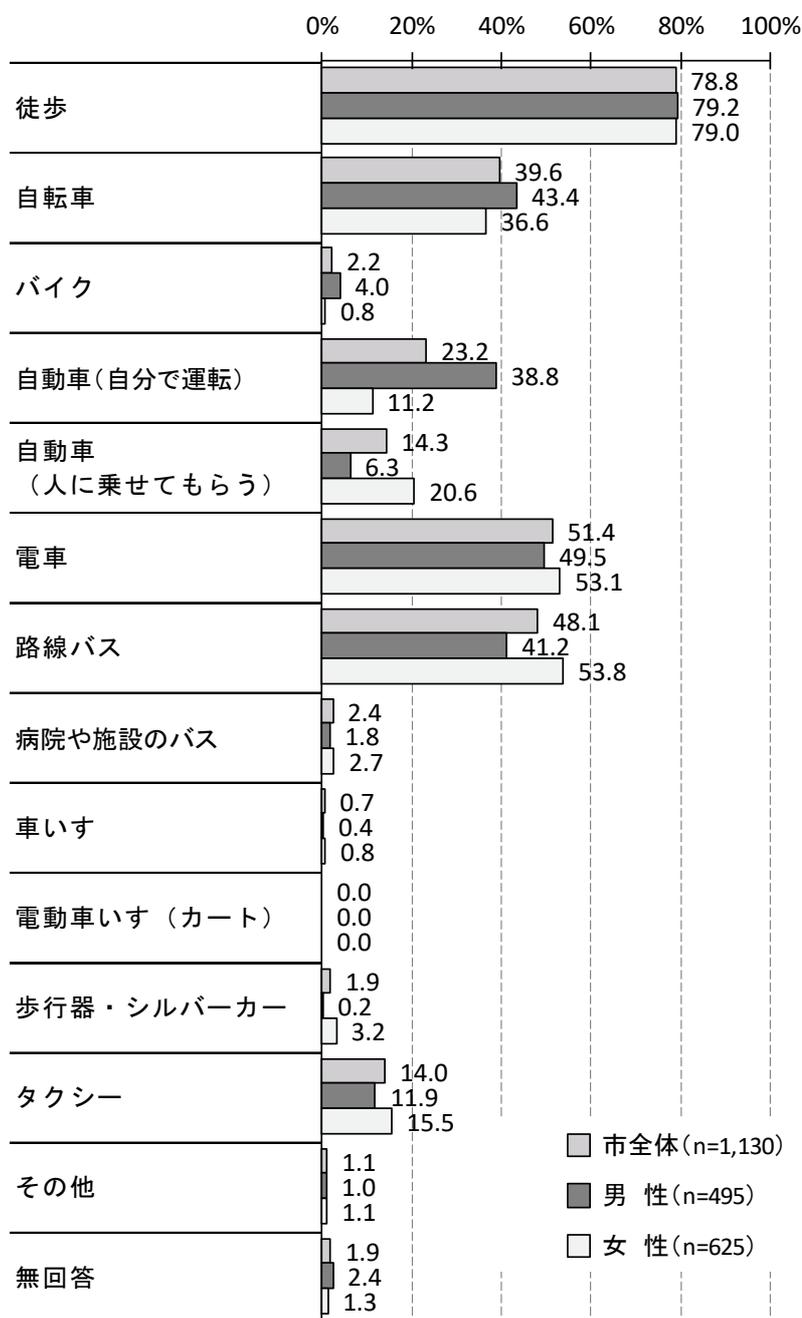
外出する際の移動手段

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (〇はいくつでも)

女性では男性より「自動車 (人に乗せてもらう)」が 14.3 ポイント、「路線バス」が 12.6 ポイント高くなっている。一方、男性では「自動車 (自分で運転)」が女性より 27.6 ポイント高くなっている。

前年と比較して、全体では「電車」が 9.5 ポイント、「路線バス」が 9.3 ポイント減少している。

図表 3.9 外出する際の移動手段 (全体・性別)



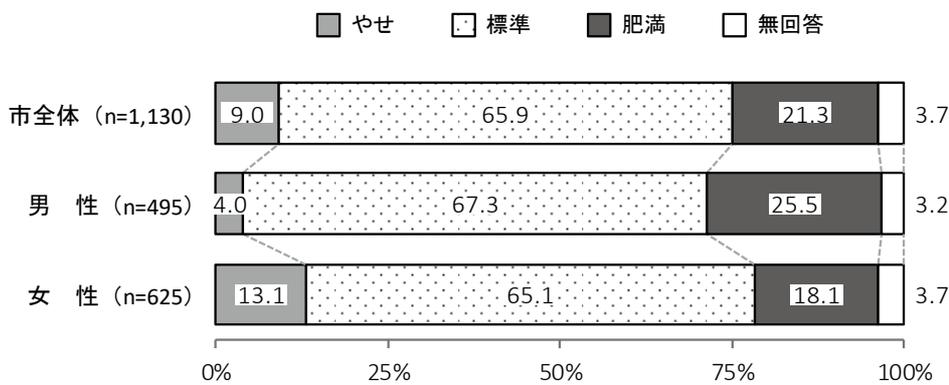
問4 食べることについて

BMI

(1) 身長・体重（数字を記入）

男性では「肥満」が女性より7.4ポイント高く、女性では「やせ」が男性より9.1ポイント高くなっている。

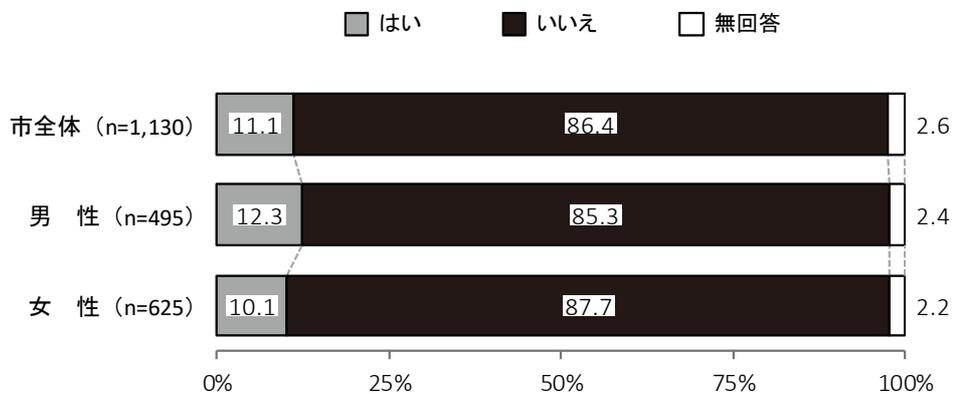
図表 4.1 BMI（全体・性別）



6か月間で2～3kg以上の体重減少があるか

(2) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（○は1つ）

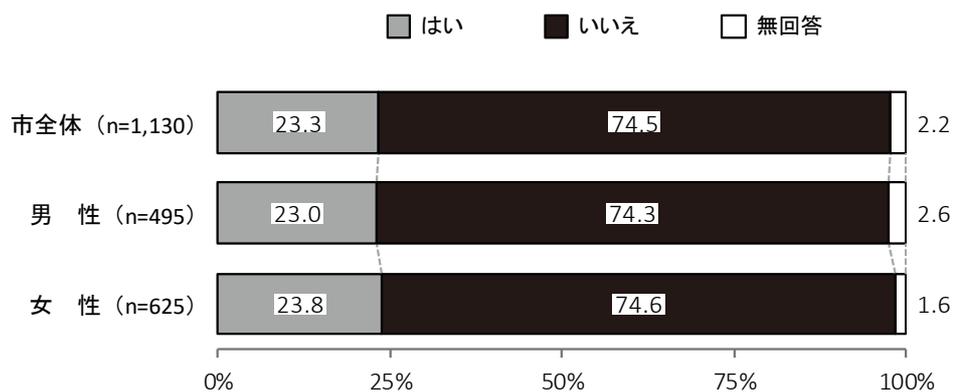
図表 4.2 6か月間で2～3kg以上の体重減少があるか（全体・性別）



固いものが食べにくくなったか

(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

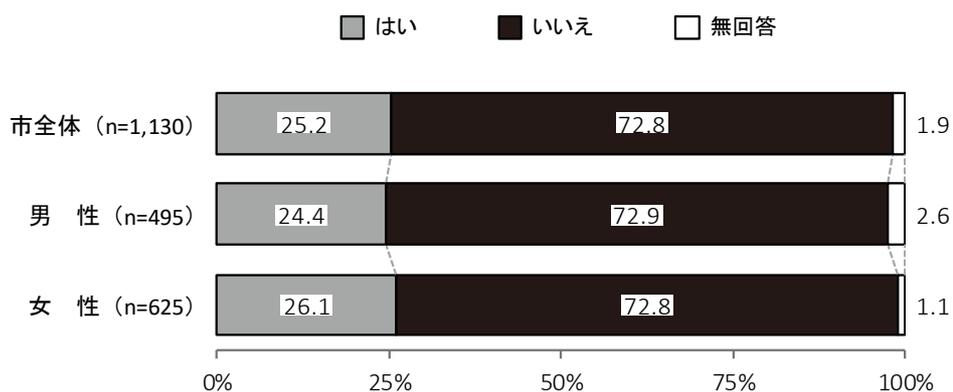
図表 4.3 固いものが食べにくくなったか (全体・性別)



お茶や汁物等でむせることがあるか

(4) お茶や汁物等でむせることがありますか (○は1つ)

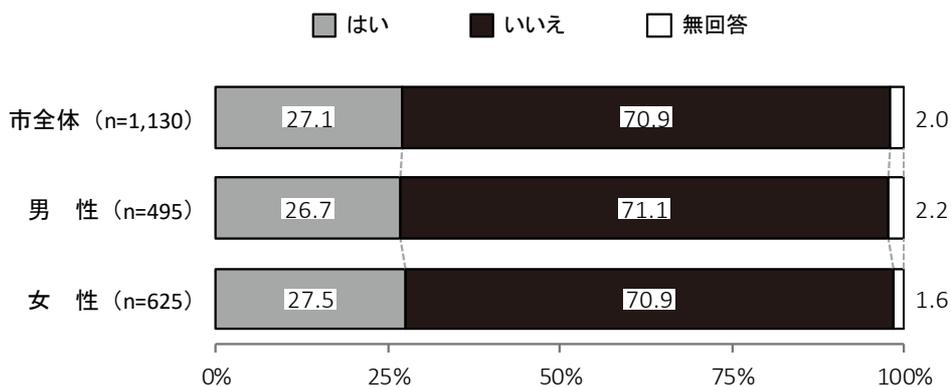
図表 4.4 お茶や汁物等でむせることがあるか (全体・性別)



口の渇きが気になるか

(5) 口の渇きが気になりますか (○は1つ)

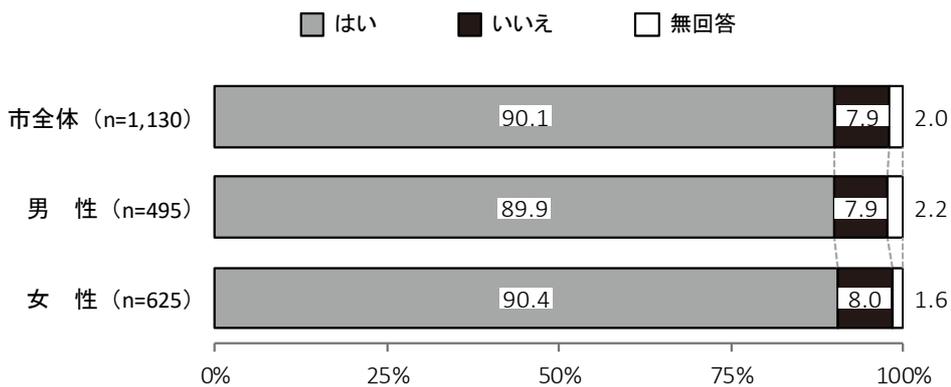
図表 4.5 口の渇きが気になるか (全体・性別)



歯磨きを毎日しているか

(6) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (○は1つ)

図表 4.6 歯磨きを毎日しているか (全体・性別)



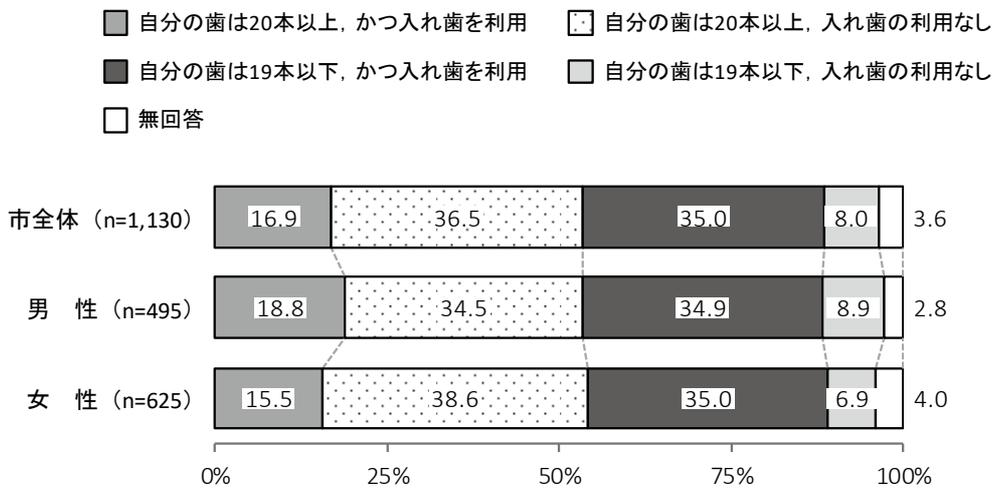
歯の数と入れ歯の利用状況

(7) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (〇は1つ)

全体では『自分の歯が19本以下』の割合が43.0%となっている。また、『入れ歯の利用』の割合が51.9%となっている。

性別にみると、女性では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が男性より4.1ポイント高くなっている。

図表 4.7 歯の数と入れ歯の利用状況 (全体・性別)

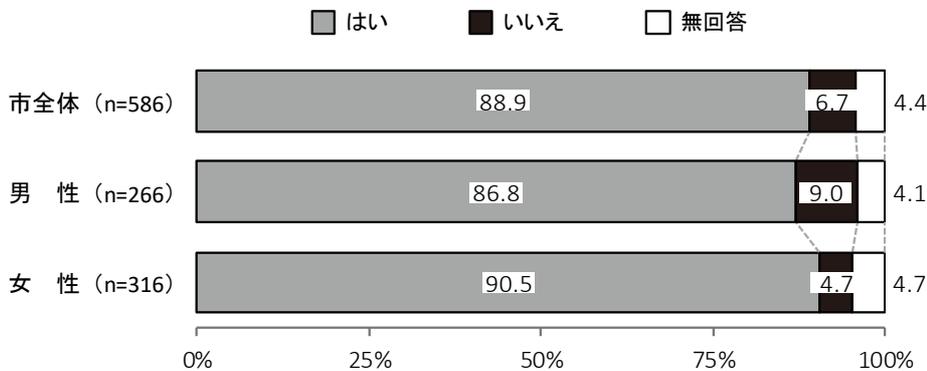


入れ歯の手入れをしているか

【(7)で「1. 自分の歯は20本以上, かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下, かつ入れ歯を利用」に〇をつけた方にうかがいます。かつ入れ歯を利用」に〇をつけた方にうかがいます。】

(7) - ①毎日入れ歯の手入れをしていますか (〇は1つ)

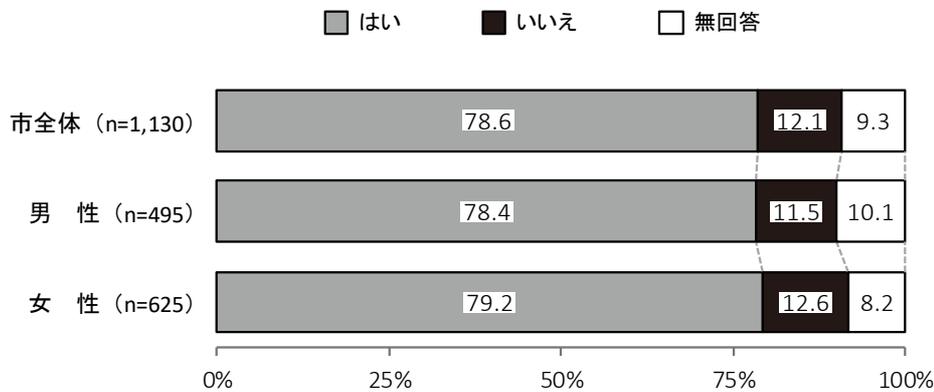
図表 4.7.1 毎日入れ歯の手入れをしているか (全体・性別)



噛み合わせは良いか

(8) 噛み合わせは良いですか (○は1つ)

図表 4.8 噛み合わせは良いか (全体・性別)

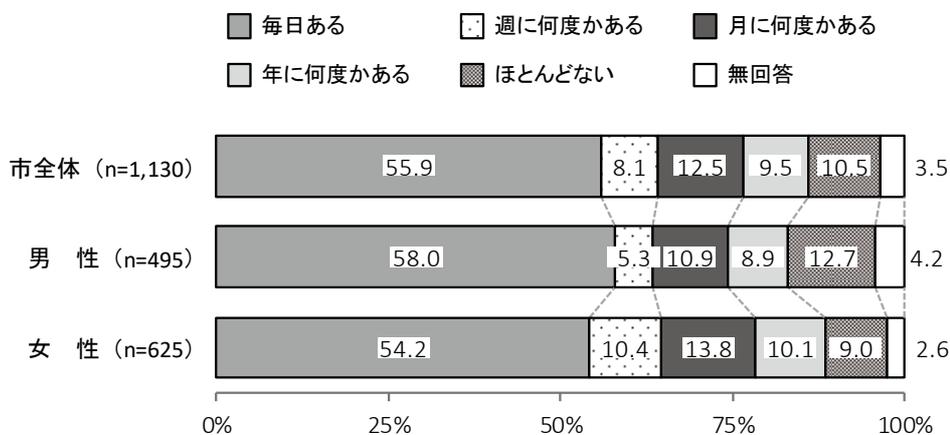


誰かと食事をとる機会があるか

(9) どなたかと食事をとる機会がありますか (○は1つ)

男性では「毎日ある」が女性より3.8ポイント高く、女性では『何度かある』の割合が24.2%と、男性より8.0ポイント高くなっている。
 前年と比較して、「ほとんどない」が男性で4.7ポイント、女性で5.5ポイント増加している。

図表 4.9 誰かと食事をとる機会があるか (全体・性別)



食事の確保のために利用しているサービス

(10) 食事の確保に下記サービスを利用していますか（それぞれ〇は1つ）

全てのサービスにおいて、「利用していない」の割合が最も高い。ただし、④コンビニエンスストアは、男性では『利用している』が女性より11.4ポイント高い。

図表 4.10 食事の確保のために利用しているサービス（全体・性別）

		(%)					
		日常的に利用している	たまに利用している	過去に利用していたが、現在は利用していない	利用していないが、興味や必要性を感じている	利用していない	無回答
市全体 (n=1,130) 男 性 (n=495) 女 性 (n=625)							
	① 弁当の配食サービス	市全体 2.0	0.6	1.2	1.3	80.3	14.5
		男 性 3.0	0.6	1.4	0.8	80.4	13.7
	女 性 1.3	0.6	1.1	1.6	80.6	14.7	
② 出前・デリバリーサービス	市全体	0.2	6.8	0.5	1.3	74.3	16.8
	男 性	0.2	7.9	0.4	1.0	73.9	16.6
	女 性	0.2	5.9	0.6	1.6	75.0	16.6
③ 食材の宅配サービス	市全体	5.9	3.1	0.4	1.0	73.1	16.5
	男 性	5.3	2.4	0.2	0.8	75.2	16.2
	女 性	6.6	3.7	0.6	1.1	71.7	16.3
④ コンビニエンスストア	市全体	8.0	27.9	0.4	1.7	50.4	11.7
	男 性	10.9	31.3	0.4	1.2	47.1	9.1
	女 性	5.8	25.0	0.3	2.1	53.4	13.4

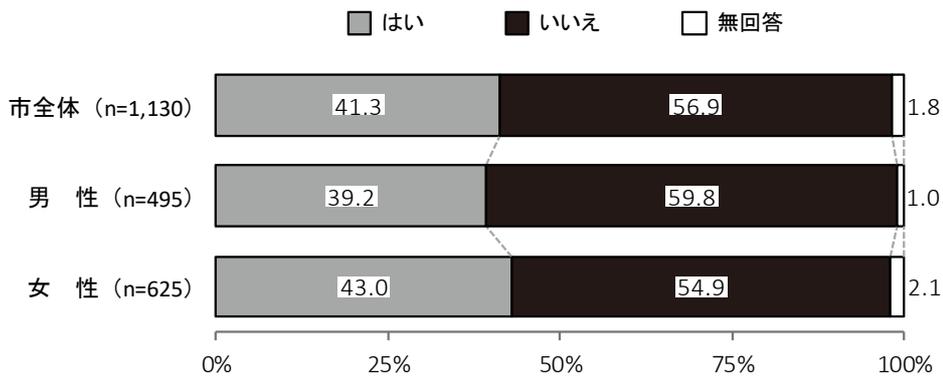
問5 毎日の生活について

物忘れが多いと感じるか

(1) 物忘れが多いと感じますか (〇は1つ)

前年と比較して、「はい」が男性で3.8ポイント、女性で7.1ポイント増加している。

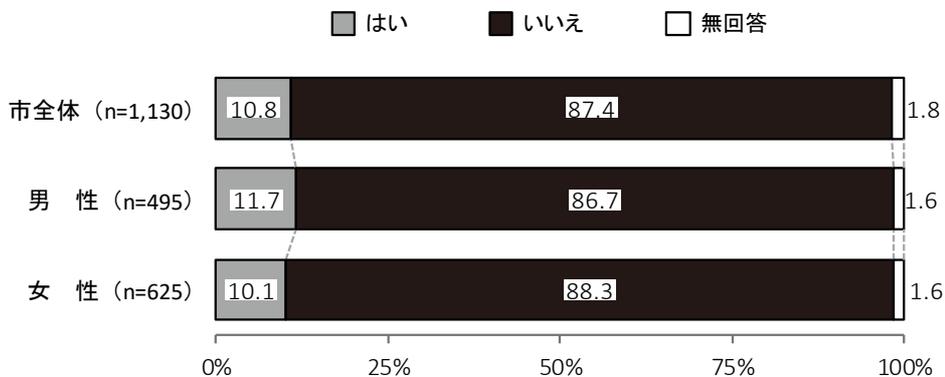
図表 5.1 物忘れが多いと感じるか (全体・性別)



周りから物忘れがあると言われるか

(2) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われるますか (〇は1つ)

図表 5.2 周りから物忘れがあると言われるか (全体・性別)

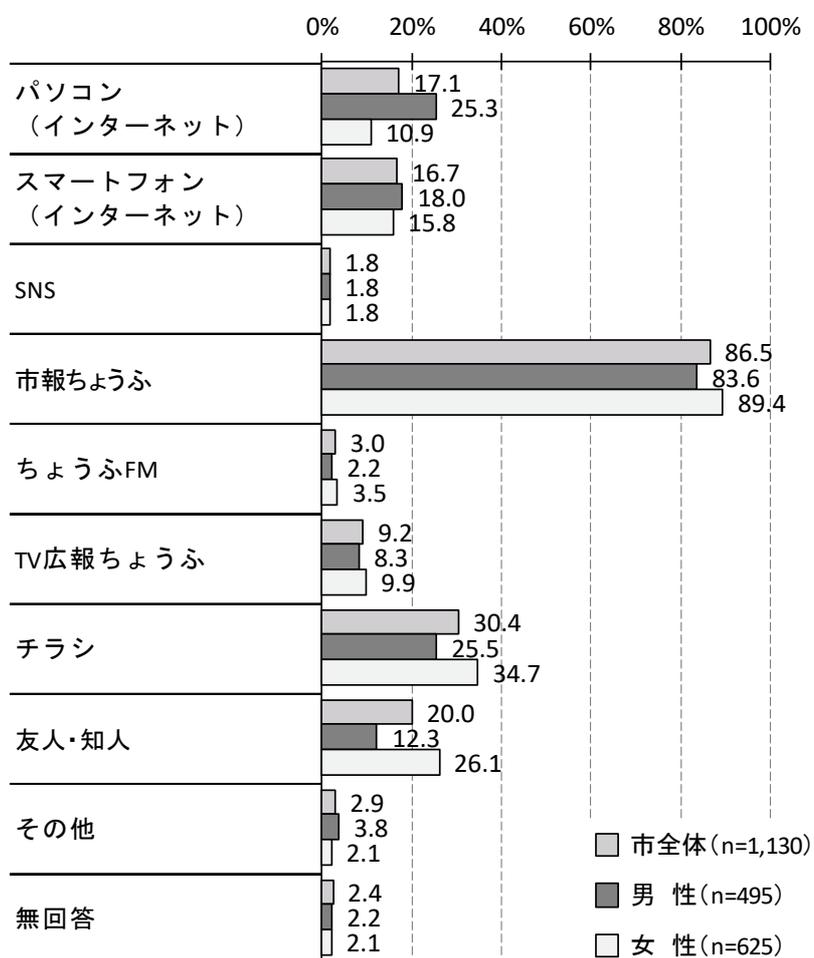


市の発信する情報をどのようにして入手しているか

(3) 市が発信する情報をどのように入手していますか (〇はいくつでも)

全体では「市報ちょうふ」, 「チラシ」, 「友人・知人」の順に高くなっている。
 性別にみると、男性では「パソコン(インターネット)」の割合が25.3%で、女性より14.4ポイント高くなっている。
 前年と比較して、全体では「パソコン」が4.0ポイント, 「スマートフォン」が3.4ポイント増加し, 「市報ちょうふ」が1.8ポイント, 「チラシ」が4.3ポイント減少している。

図表 5.3 市の発信する情報をどのようにして入手しているか (全体・性別)

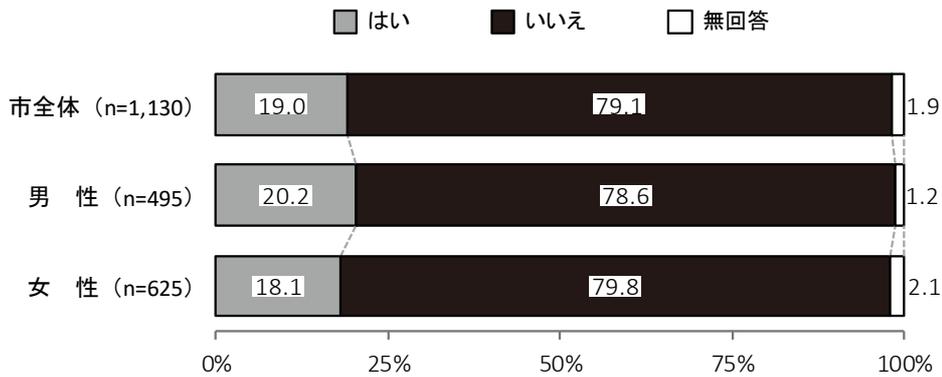


日付がわからない時があるか

(4) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)

前年と比較して、全体では「はい」が3.0ポイント減少している。

図表 5.4 日付がわからない時があるか (全体・性別)

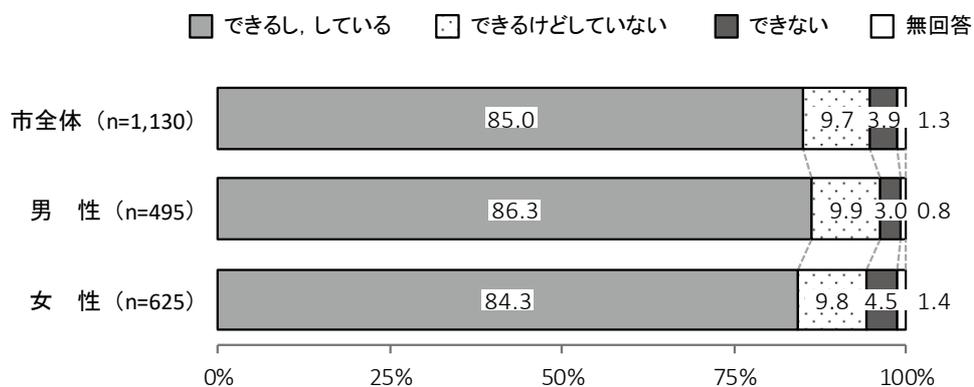


バスや電車を使って、1人で外出できるか

(5) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○は1つ)

男性では「できるし、している」が女性より2.0ポイント高くなっている。
前年と比較して、女性では「できるし、している」が5.8ポイント減少している。

図表 5.5 バスや電車を使って、1人で外出できるか (全体・性別)



外出する際、どこまででかけることが多いか

(6) 日頃外出する際、どこまで出かけることが多いですか（それぞれ〇は1つ）

①買い物、②趣味・習い事、③かかりつけ医等の病院の全てで「市内」の割合が最も高くなっている。

性別にみると、極端な差はないものの、男性は女性より遠方に出かける傾向がある。

前年と比較して、性別に関わらず、全ての項目で「住まいの周辺」の割合が増加しており、行動範囲が狭まっている結果となった。

図表 5.6 外出する際、どこまででかけることが多いか（全体・性別）

(%)

		住まいの周辺 (徒歩15分以内程度)	市内	調布市を除く 東京都内	東京都外	無回答
市全体 (n=1,130) 男 性 (n=495) 女 性 (n=625)						
① 買 い 物	市全体	36.0	41.5	11.2	1.1	10.3
	男 性	35.2	41.8	12.7	1.6	8.7
	女 性	37.1	41.0	9.9	0.6	11.4
② 趣 味 ・ 習 い 事	市全体	12.1	24.4	16.9	5.3	41.2
	男 性	11.9	23.2	17.8	8.7	38.4
	女 性	12.3	25.8	16.5	2.7	42.7
③ か か り つ け 医 等 の 病 院	市全体	32.1	34.5	19.4	1.1	12.9
	男 性	28.5	33.5	23.8	1.8	12.3
	女 性	34.9	35.7	16.2	0.5	12.8

外出の際、何を使って移動するか

(6) -① 外出する際、何を使って移動しますか（それぞれ〇は1つ）

男性では「自家用車」の割合が全ての項目で女性より高く、女性では「電車・バス（公共交通機関）」の割合が全ての項目で男性より高くなっている。

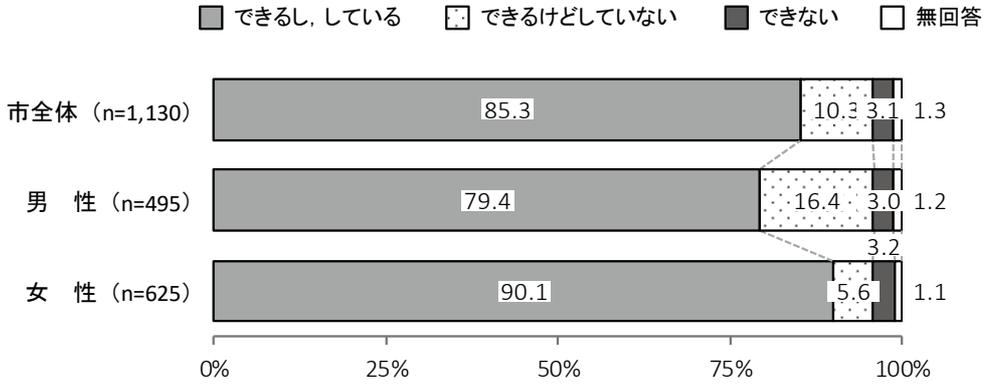
図表 5.6.1 外出する際、何を使って移動するか（全体・性別）

		徒歩	自転車	自家用車	電車・バス (公共交通機関)	その他 (タクシーなど)	無回答
市全体 (n=1,130) 男 性 (n=495) 女 性 (n=625)							
① 買い物	市全体	37.6	23.5	13.7	9.9	1.1	14.2
	男 性	34.7	23.0	22.0	7.3	0.4	12.5
	女 性	40.0	24.2	7.4	11.7	1.6	15.2
② 趣味・習い事	市全体	14.2	11.4	7.1	25.2	0.5	41.5
	男 性	15.4	12.1	12.7	21.8	0.4	37.6
	女 性	13.4	11.0	2.7	28.2	0.6	44.0
③ かかりつけ医 等の病院	市全体	31.4	16.5	9.4	24.2	3.6	15.0
	男 性	27.7	19.6	14.3	21.2	3.6	13.5
	女 性	34.4	14.1	5.6	26.4	3.5	16.0

自分で食品・日用品の買い物をしているか

(7) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか (○は1つ)

図表 5.7 自分で食品・日用品の買い物をしているか (全体・性別)

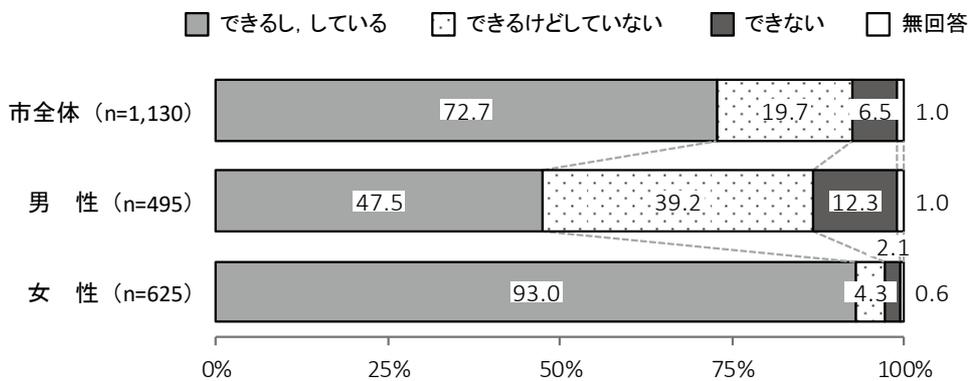


自分で食事の用意をしているか

(8) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

前年と比較して、全体では「できるけどしていない」が2.5ポイント増加している。

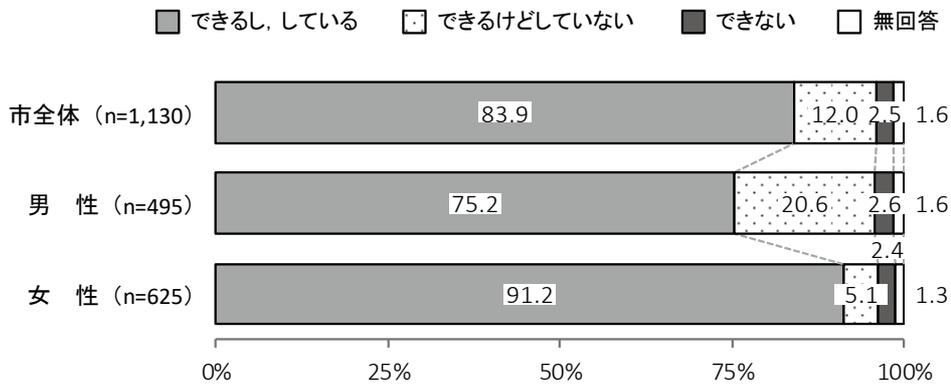
図表 5.8 自分で食事の用意をしているか (全体・性別)



自分で請求書の支払いをしているか

(9) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)

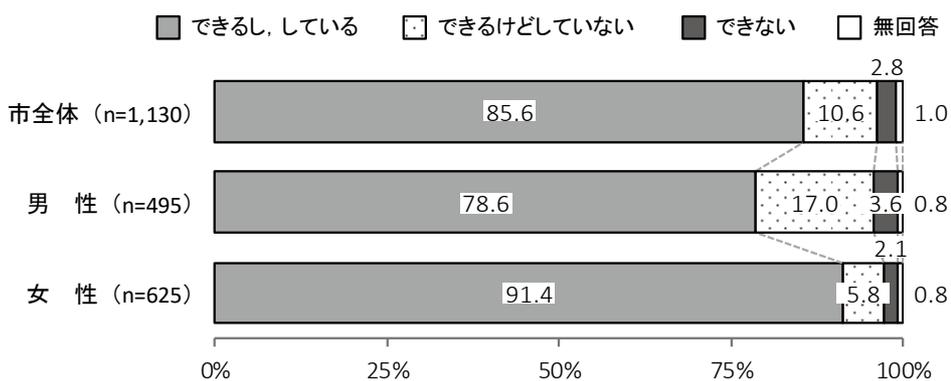
図表 5.9 自分で請求書の支払いをしているか (全体・性別)



自分で預貯金の出し入れをしているか

(10) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)

図表 5.10 自分で預貯金の出し入れをしているか (全体・性別)

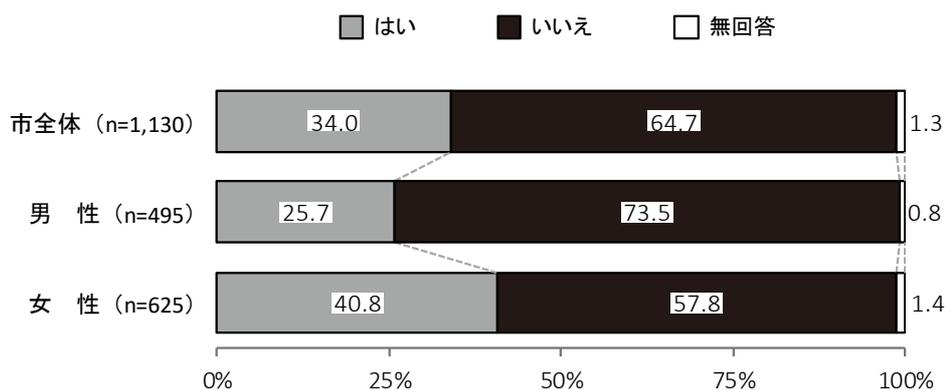


友人の家を訪ねているか

(11) 友人の家を訪ねていますか (〇は1つ)

前年と比較して、「いいえ」が男性で 11.9 ポイント、女性で 18.8 ポイント、全体で 16.3 ポイント増加している。

図表 5.11 友人の家を訪ねているか (全体・性別)

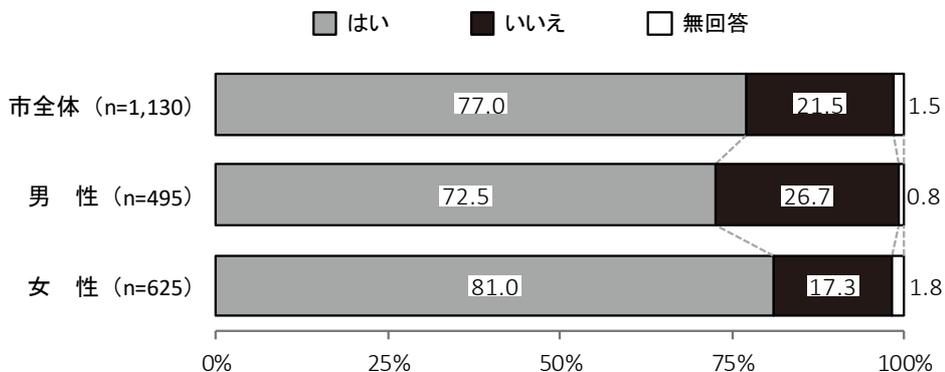


家族や友人の相談にのっているか

(12) 家族や友人の相談にのっていますか (〇は1つ)

前年と比較して、女性では「いいえ」が 3.6 ポイント増加している。

図表 5.12 家族や友人の相談にのっているか (全体・性別)

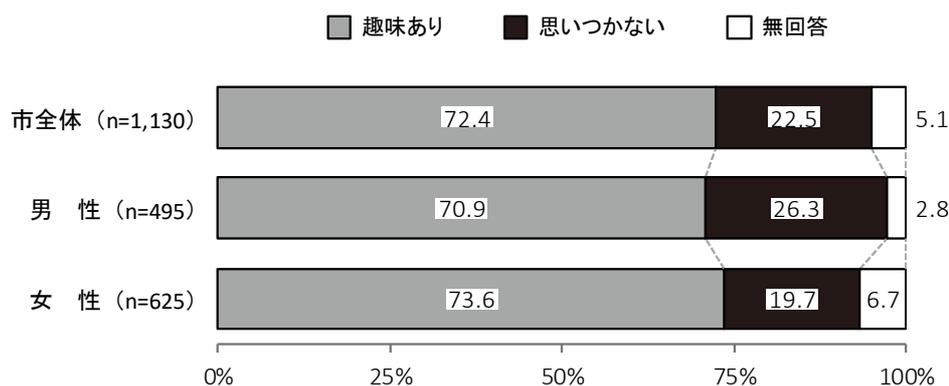


趣味があるか

(13) 趣味はありますか (〇は1つ)

前年と比較して、男性では「いいえ」が4.8ポイント増加している。

図表 5.13 趣味があるか (全体・性別)



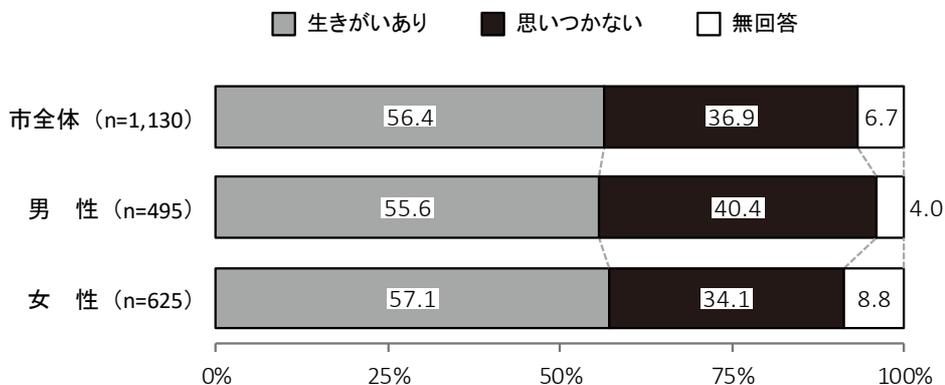
また、趣味の内容を具体的にたずねたところ、以下のような内容が見られた。

趣味	趣味の内容
①旅行, アウトドア等	旅行, 釣り, 散策, 登山
②創作活動	手芸, 絵を描く, 習字, 絵手紙, 文章を書く, 陶芸, 俳句, 写真, フラワーアレンジメント, 折り紙, 生花
③ゲーム	囲碁, 将棋, 麻雀, パソコン・テレビゲーム
④スポーツ・運動	ゴルフ, 水泳, 体操, テニス, 野球, スポーツジム, 太極拳, サイクリング, スキー, ボーリング, バドミントン, ヨガ, 吹矢
⑤音楽, 踊り	合唱, カラオケ, 楽器演奏, 民謡, ダンス
⑥鑑賞	映画, 美術, 観劇, スポーツ観戦, コンサート
⑦土いじり	家庭菜園, 園芸
⑧その他	読書, ブログ, SNS, 競馬, 犬の散歩, ドライブ, DIY, テレビ, 語学, パソコン, ボランティア

生きがいがあるか

(14) 生きがいはありますか (○は1つ)

図表 5.14 生きがいがあるか (全体・性別)



どのように生きがいを見つけたか

【(14) で「生きがいあり」に○をつけた方にうかがいます。】

(14) -① その生きがいをどのように見つけましたか。ご自由にご記入ください。

生きがいの内容と、その見つけ方について、以下のような内容が見られた。

生きがいの内容	見つけ方
①孫・家族と過ごす時間	—
②趣味	<ul style="list-style-type: none"> ・友人に誘われ、家族のすすめもあって ・新聞広告やチラシをみて ・長寿会で誘われて ・自然に趣味となった
③スポーツ・運動	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頃からやっている ・健康のためスポーツジムに入会した ・夫、妻から誘われた
④仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・知人から誘われたため ・依頼があって始めた ・定年後資格を取得した
⑤地域活動, ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなことがボランティアに繋がるならと始めた ・定年後、地域社会のため自ら申し込んだ
⑥友人	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会で知り合った ・近所の方と気が合うので
⑦習い事	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の学校で掲示板をみて ・市報でみて講座に申し込んだ

	・インターネットで探した
⑧その他	—

問6 地域での活動について

会・グループ等の参加頻度

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～⑧それぞれに回答してください（それぞれ〇は1つ）

全体では『週1回以上参加している』人では「収入のある仕事」が23.0%で最も高く、「町内会・自治会」が1.1%で最も低い。一方、『参加している』人に範囲を広げると「趣味関係のグループ」が27.9%で最も高く、「老人クラブ」が3.2%で最も低い。性別にみると、男性では「参加していない」が全ての項目において50%を超えている。

図表 6.1 会・グループ等の参加頻度（全体・性別）

（%）

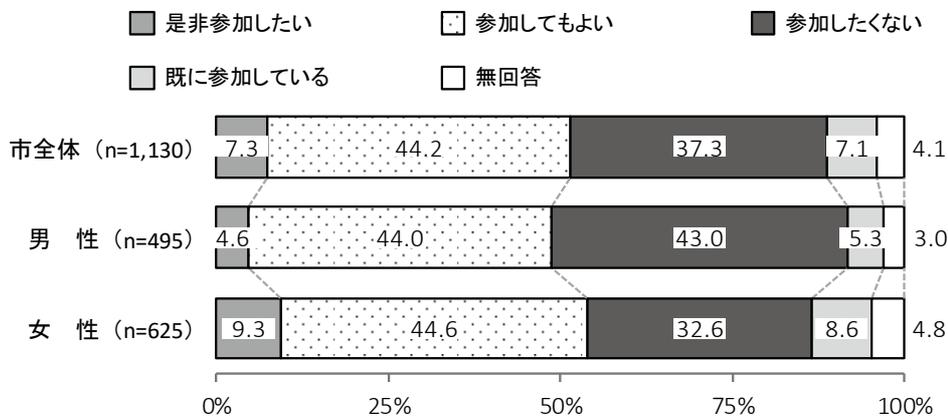
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	市全体	0.4	1.5	1.7	4.2	2.7	68.1	21.3
	男性	0.4	0.6	1.8	3.0	2.8	74.3	17.0
	女性	0.5	2.2	1.6	5.3	2.6	63.8	24.0
②スポーツ関係のグループやクラブ	市全体	2.8	6.2	6.3	4.1	1.9	59.4	19.3
	男性	2.0	3.8	4.8	4.0	2.4	67.3	15.6
	女性	3.4	8.2	7.5	4.2	1.6	53.8	21.4
③趣味関係のグループ	市全体	1.4	2.5	6.1	12.9	5.0	54.2	18.0
	男性	1.2	2.4	3.8	9.1	6.3	62.8	14.3
	女性	1.6	2.6	7.8	16.0	4.0	47.8	20.2
④学習・教養サークル	市全体	0.3	0.8	1.6	4.0	2.1	68.1	23.1
	男性	0.2	0.4	1.0	3.2	1.0	75.8	18.4
	女性	0.3	1.1	2.1	4.6	3.0	62.7	26.1
⑤10の筋力トレーニングなどの介護予防のための通いの場	市全体	0.6	1.9	2.3	1.0	1.0	71.1	22.2
	男性	0.4	1.0	1.2	0.6	0.4	77.2	19.2
	女性	0.8	2.6	3.2	1.3	1.4	66.9	23.8
⑥老人クラブ	市全体	0.1	0.9	0.2	1.3	0.7	74.8	22.0
	男性	—	0.4	—	0.2	1.0	79.8	18.6
	女性	0.2	1.3	0.3	2.2	0.5	71.5	24.0
⑦町内会・自治会	市全体	0.2	0.6	0.3	3.4	9.3	65.2	21.1
	男性	0.4	0.6	0.2	3.6	10.3	68.5	16.4
	女性	—	0.6	0.3	3.2	8.5	63.5	23.8
⑧収入のある仕事	市全体	14.7	6.5	1.8	1.5	1.6	54.9	19.1
	男性	19.0	8.1	1.4	1.6	1.6	55.4	12.9
	女性	11.5	5.1	2.1	1.4	1.6	55.0	23.2

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいか

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (〇は1つ)

男性では「参加したくない」が女性より 10.4 ポイント高くなっている。
前年と比較して、男性は 1.1 ポイント、女性は 2.0 ポイント、全体で 1.7 ポイント増加しているが、「既に参加している」人の割合は増加傾向にある。

図表 6.2 健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者としての参加意向 (全体・性別)

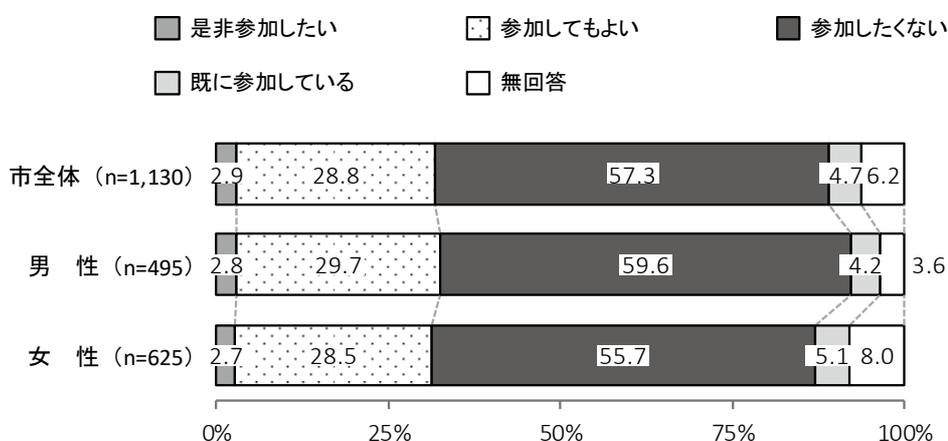


健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営として参加してみたいか

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

男性では「参加したくない」が女性より3.9ポイント高くなっている。
前年と比較して、「参加してもよい」が男性で1.8ポイント、女性で1.7ポイント、全体で1.7ポイント増加している。

図表 6.3 健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営としての参加意向（全体・性別）

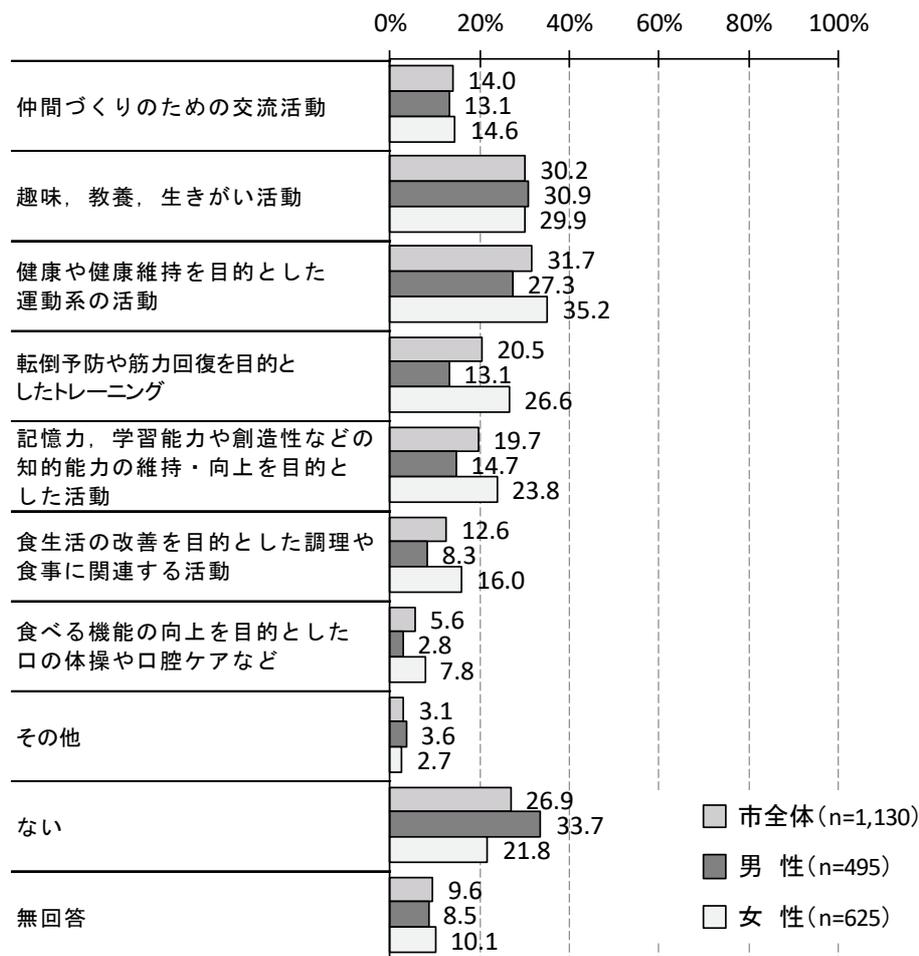


参加してみたい地域活動

(4) 以下の中に参加したいと思うものはありますか (〇はいくつでも)

男性では「ない」の割合が33.7%と、女性より11.9ポイント高くなっている。一方、女性では男性より「転倒予防や筋力回復を目的としたトレーニング」が13.5ポイント、「記憶力、学習能力や創造性などの知的能力の維持・向上を目的とした活動」が9.1ポイント高くなっている。

図表 6.4 参加してみたい地域活動 (全体・性別)



問7 たすけあいについて

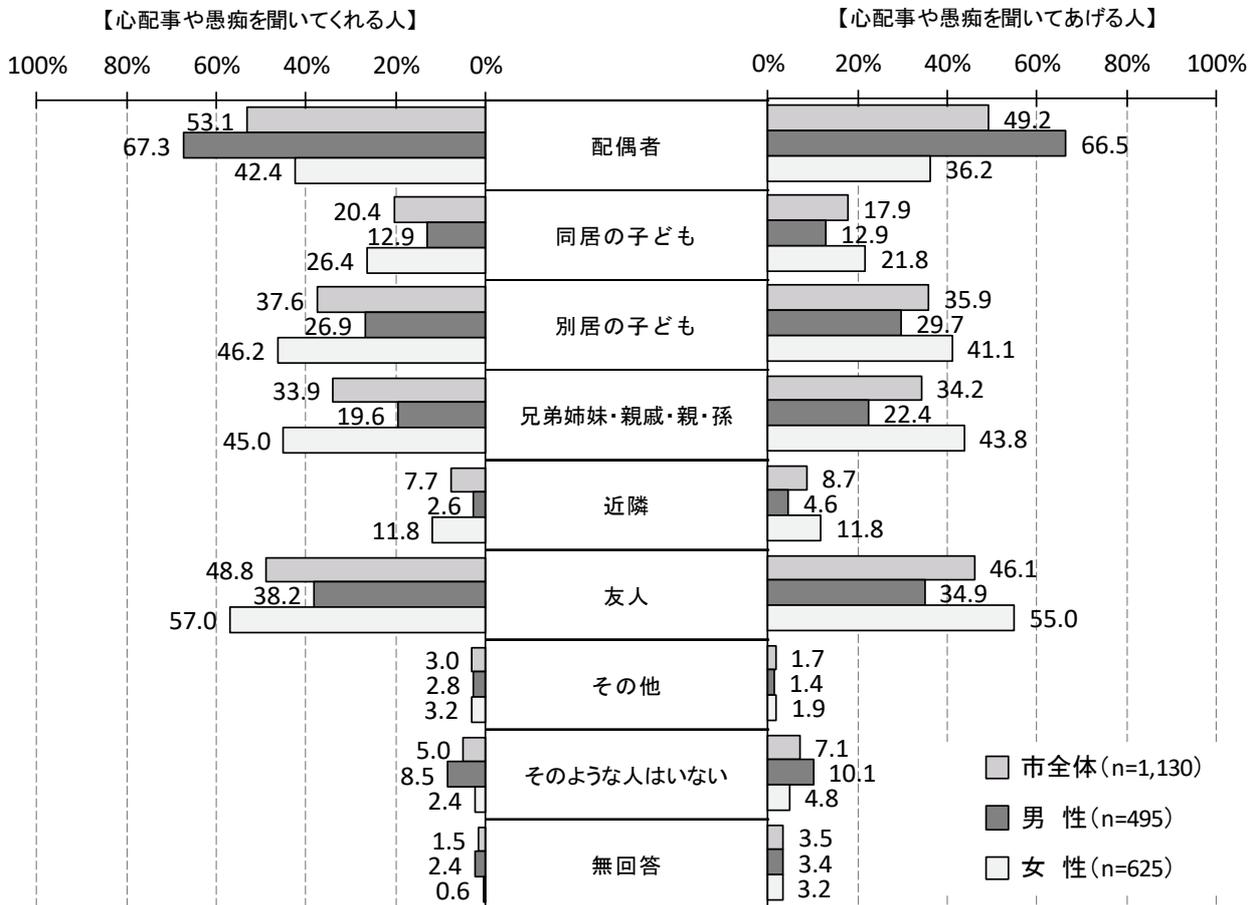
心配事や愚痴を聞いてくれる人，聞いてあげる人

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

- (1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（〇はいくつでも）
- (2) 反対に，あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（〇はいくつでも）

「心配事や愚痴を聞いてくれる人」，「心配事や愚痴を聞いてあげる人」共に，男性では「配偶者」の割合が最も高く，女性では「友人」の割合が最も高くなっている。前年と比較して，「近隣」だけ全ての項目でポイントが減少している。

図表 7.1，図表 7.2 心配事や愚痴を聞いてくれる人，聞いてあげる人（性別）



看病や世話をしてくれる人、してあげる人

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

(○はいくつでも)

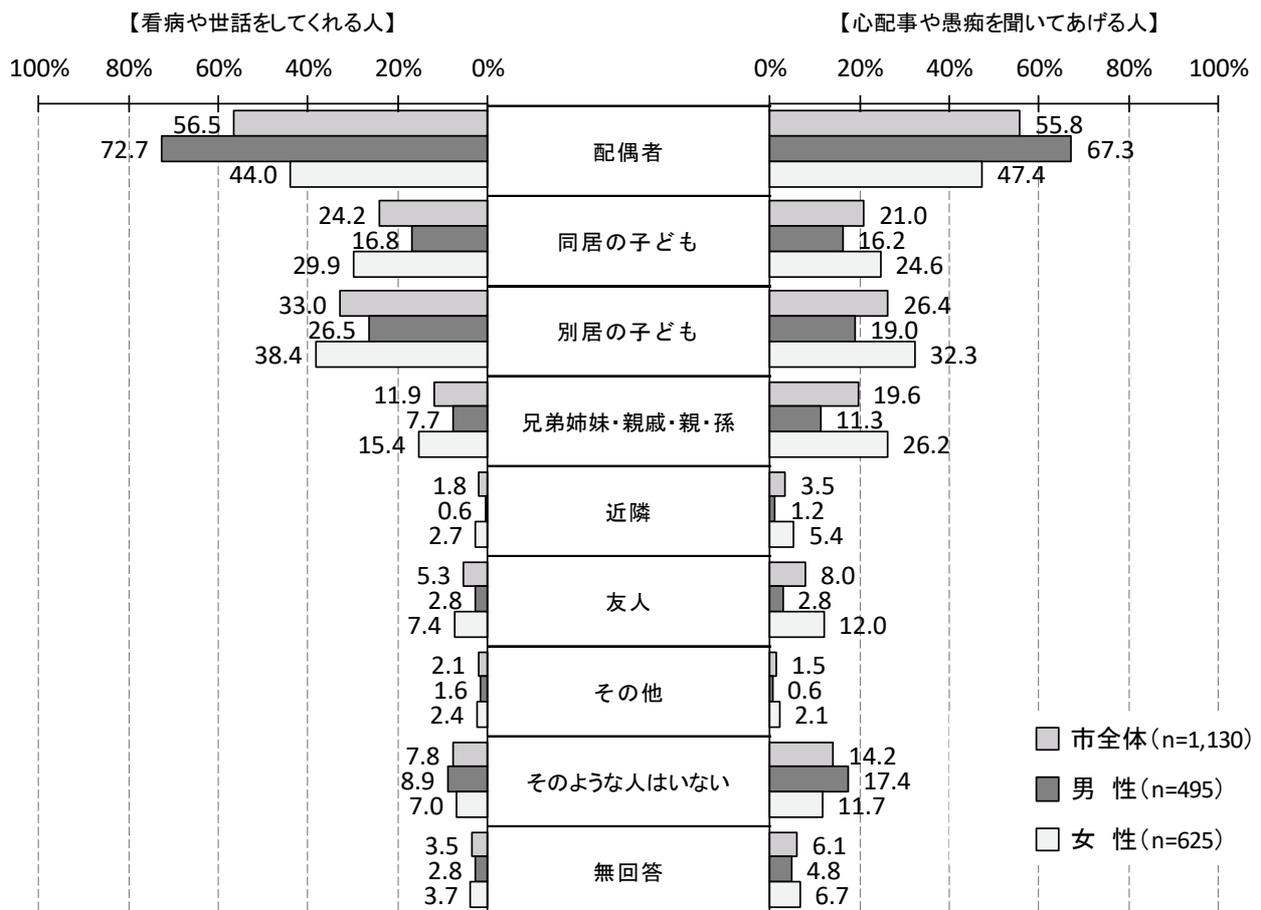
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (○はいくつでも)

「看病や世話をしてくれる人」について、性別に関わらず、「配偶者」の割合が最も高いが、男性は女性より28.7ポイント高くなっている。

「看病や世話をしてあげる人」について、性別に関わらず、「配偶者」の割合が最も高く、男性は女性より19.9ポイント高くなっている。

前年と比較して、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」と「友人」の全ての項目でポイントが減少している。

図表 7.3, 図表 7.4 看病や世話をしてくれる人、してあげる人 (性別)

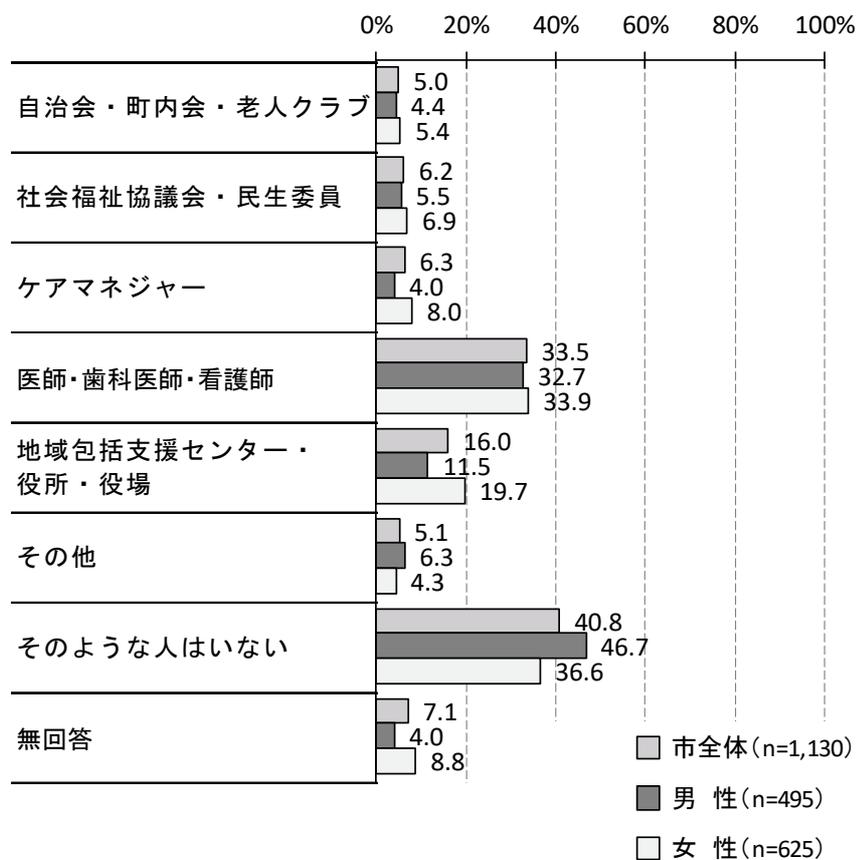


家族や友人・知人以外で相談する相手

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(〇はいくつでも)

全体では「そのような人はいない」が最も高く、前年同様である(0.1ポイント増加)。
前年と比較して、全体では「自治会・町内会・老人クラブ」、「社会福祉協議会・民生委員」、「医師・歯科医師・看護師」のポイントが増加している。

図表 7.5 家族や友人・知人以外で相談する相手 (全体・性別)



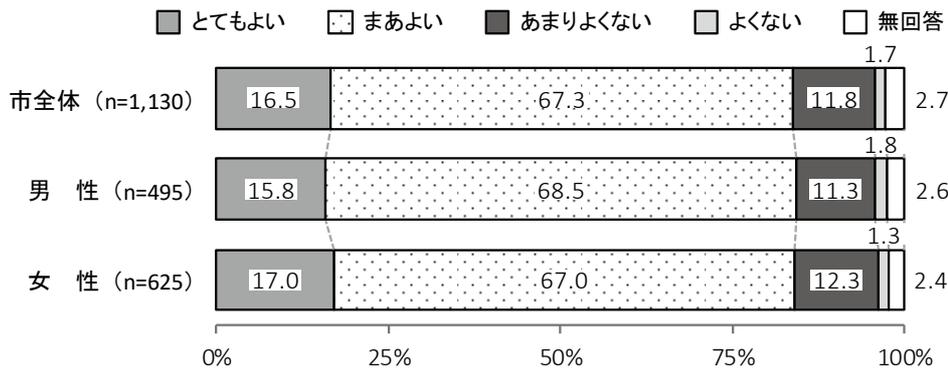
問8 健康について

健康状態

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (〇は1つ)

全体では『よい』が83.8%となっており、『よくない』が13.5%となっている。
前年と比較して、男性では『よくない』が2.6ポイント減少している。

図表 8.1 健康状態 (全体・性別)

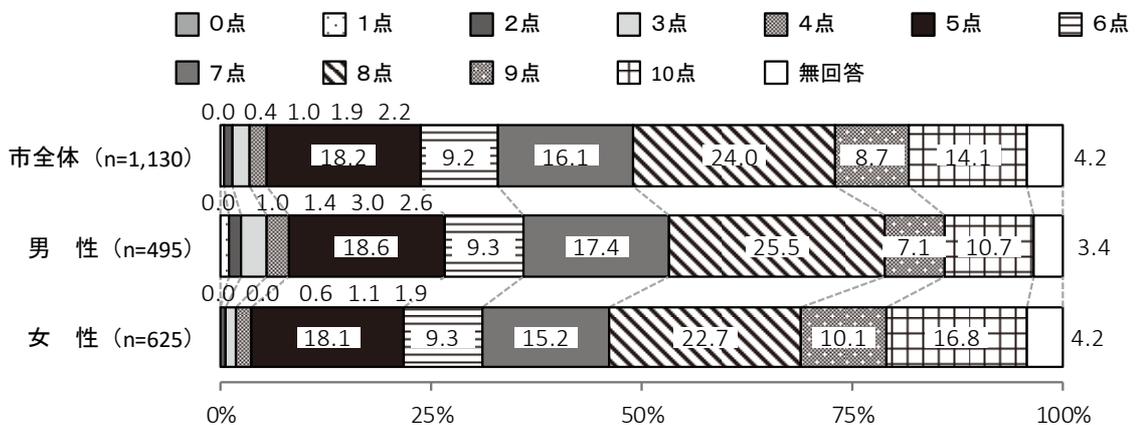


幸福度

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (〇は1つ) (「とても不幸」を0点, 「とても幸せ」を10点として、点数に〇をご記入ください)

全体では『8~10点』が46.8%, 『4~7点』が45.7%, 『0~3点』が3.3%となっている。
性別にみると、女性では『8~10点』が49.6%と、男性より6.3ポイント高くなっている。

図表 8.2 幸福度 (全体・性別)

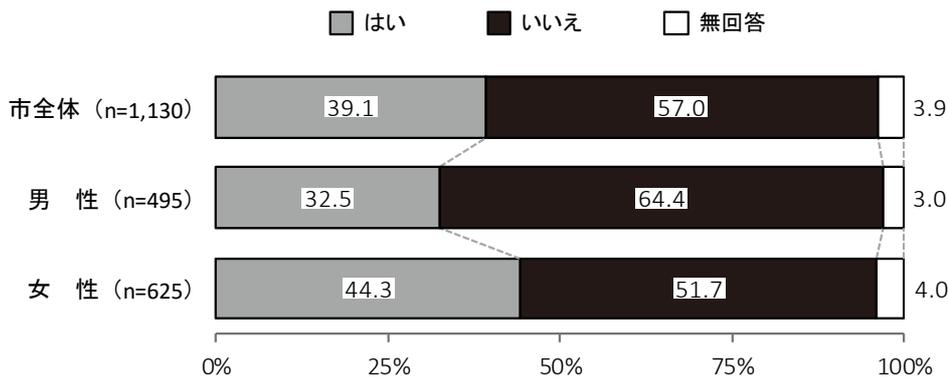


この1か月、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
(〇は1つ)

前年と比較して、全体では「はい」が7.1ポイント増加している。

図表 8.3 この1か月、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか（全体・性別）

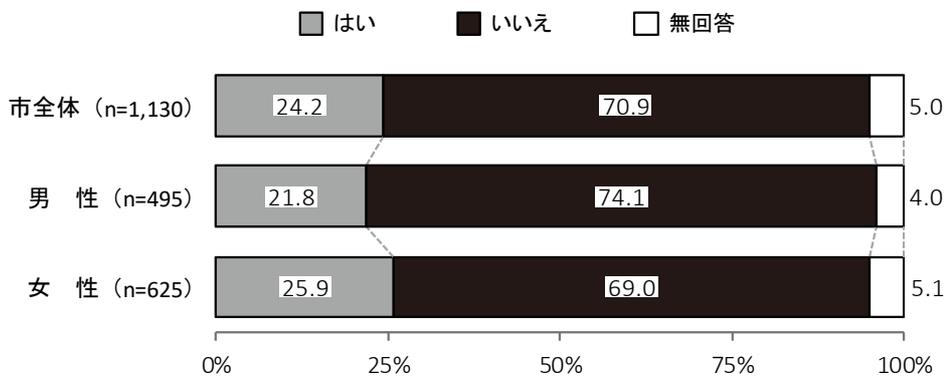


この1か月、物事に対して興味がわかない、心から楽しめないことがあったか

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (〇は1つ)

前年と比較して、全体では「はい」が5.3ポイント増加している。

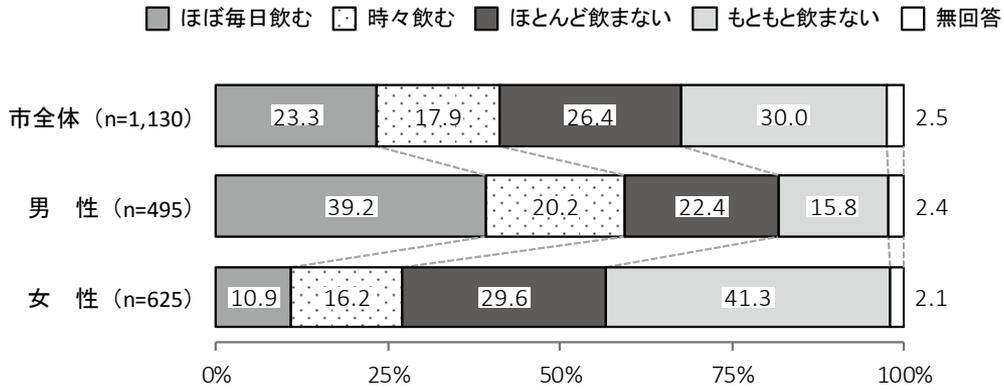
図表 8.4 この1か月、物事に対して興味がわかない、心から楽しめないことがあったか（全体・性別）



飲酒の状況

(5) お酒は飲みますか (○は1つ)

図表 8.5 飲酒の状況 (全体・性別)

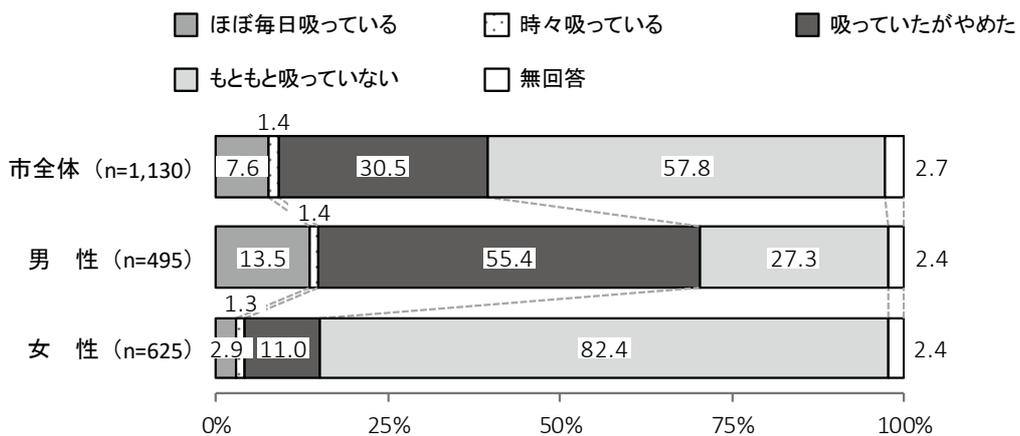


喫煙の状況

(6) タバコは吸っていますか (○は1つ)

全体では『吸っている (喫煙率)』が9.0%となっている。
 性別にみると、喫煙率は、男性が14.9%と女性より10.7ポイント高くなっている。
 前年と比較して、男性の喫煙率は1.1ポイント減少している。

図表 8.6 喫煙の状況 (全体・性別)

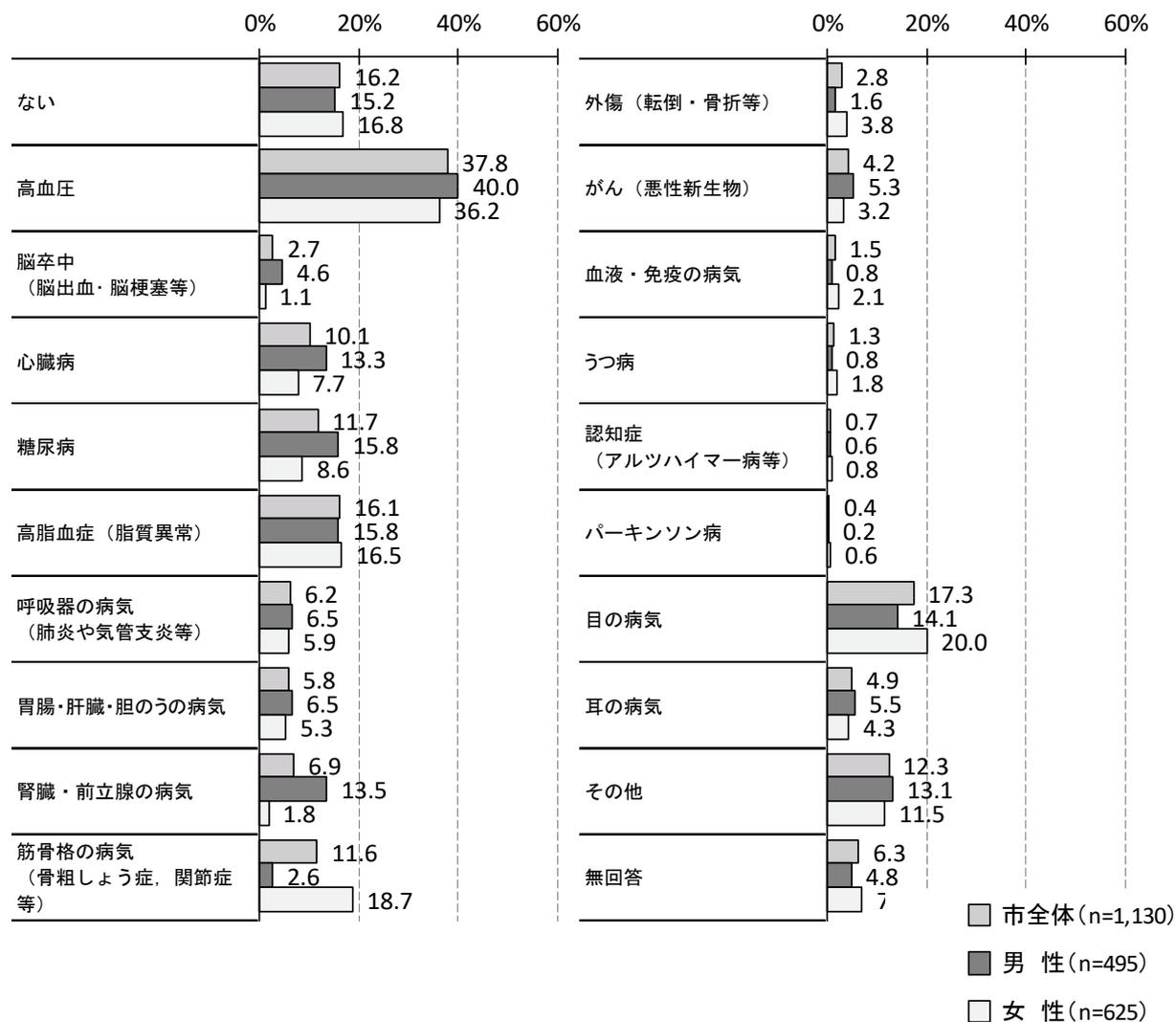


現在治療中、後遺症のある病気はあるか

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (〇はいくつでも)

性別に関わらず、「高血圧」の割合が最も高くなっている。次いで高い項目は、男性では「高脂血症（脂質異常）」と「糖尿病」、女性では「目の病気」となっている。

図表 8.7 治療中、後遺症のある病気（全体・性別）



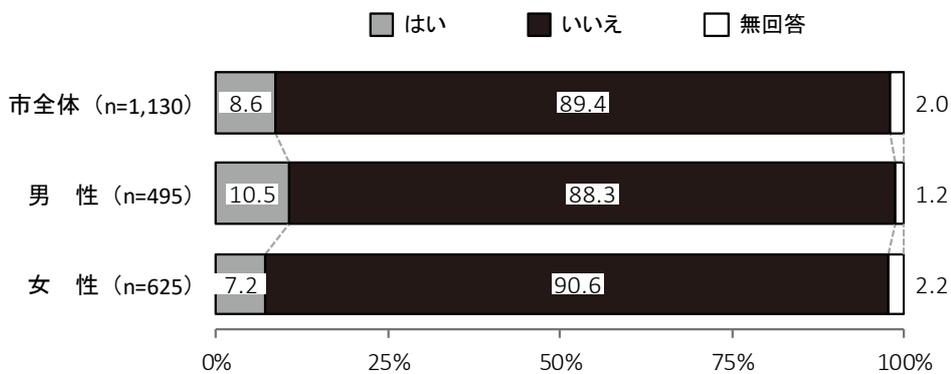
問9 認知症にかかる相談窓口の把握について

認知症の症状がある、または家族に症状がある人がいるか

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (〇は1つ)

前年と比較して、「はい」が男性で3.0ポイント増加，女性で1.5ポイント減少している。

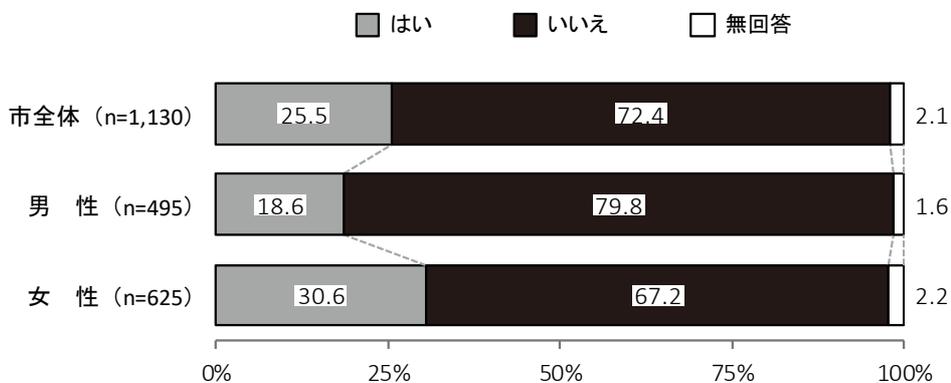
図表 9.1 認知症の症状がある、または家族に症状がある人がいるか (全体・性別)



認知症に関する相談窓口を知っているか

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (〇は1つ)

図表 9.2 認知症に関する相談窓口を知っているか (全体・性別)



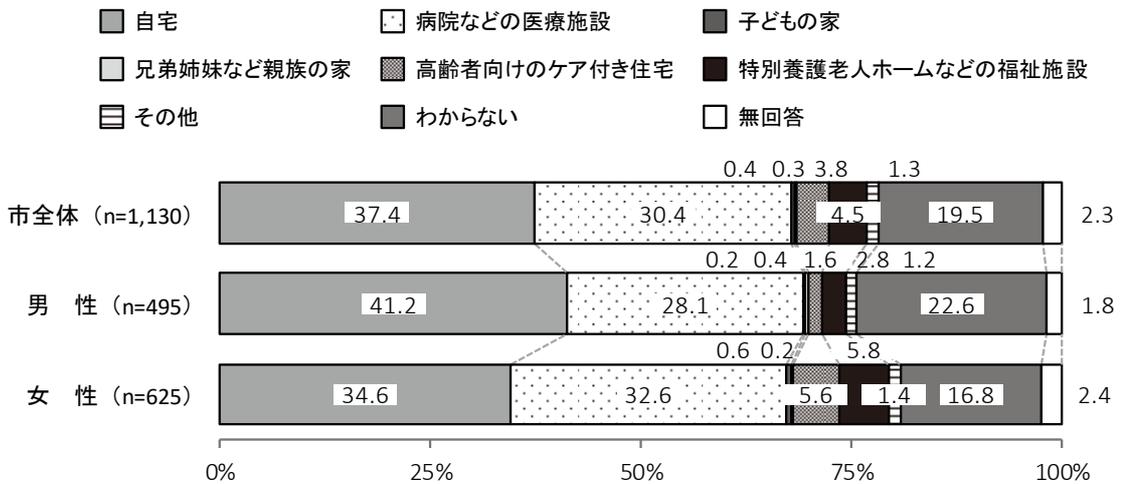
問10 その他、福祉施策について

どこで最期を迎えたいか

(1) 治る見込みがない病気になった場合、どこで最期を迎えたいですか (○は1つ)

前年と比較して、男性では「わからない」が7.1ポイント、女性では「病院などの医療施設」が6.4ポイント増加している。

図表 10.1 どこで最期を迎えたいか (全体・性別)



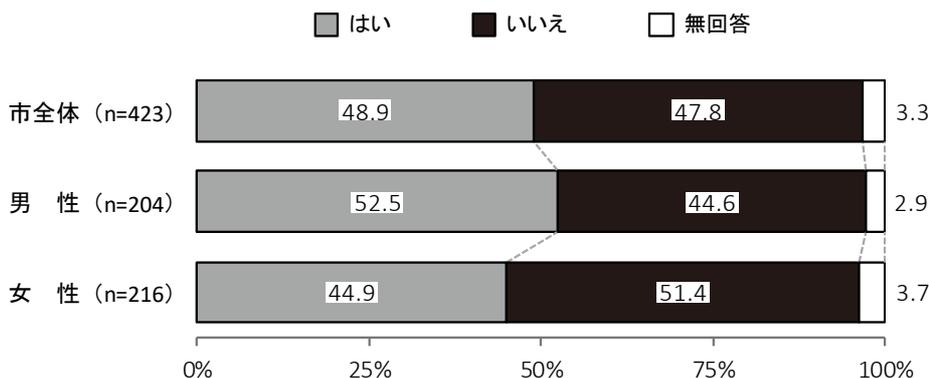
自宅で最期を迎えることができると思うか

【(1)において「1. 自宅」に○をつけた方にうかがいます。】

(1) -① あなたは自宅で最期を迎えることができますか (○は1つ)

前年と比較して、「はい」が男性で8.3ポイント、女性で2.1ポイント、全体で4.6ポイント減少している。

図表 10.1.1 自宅で最期を迎えることができると思うか (全体・性別)



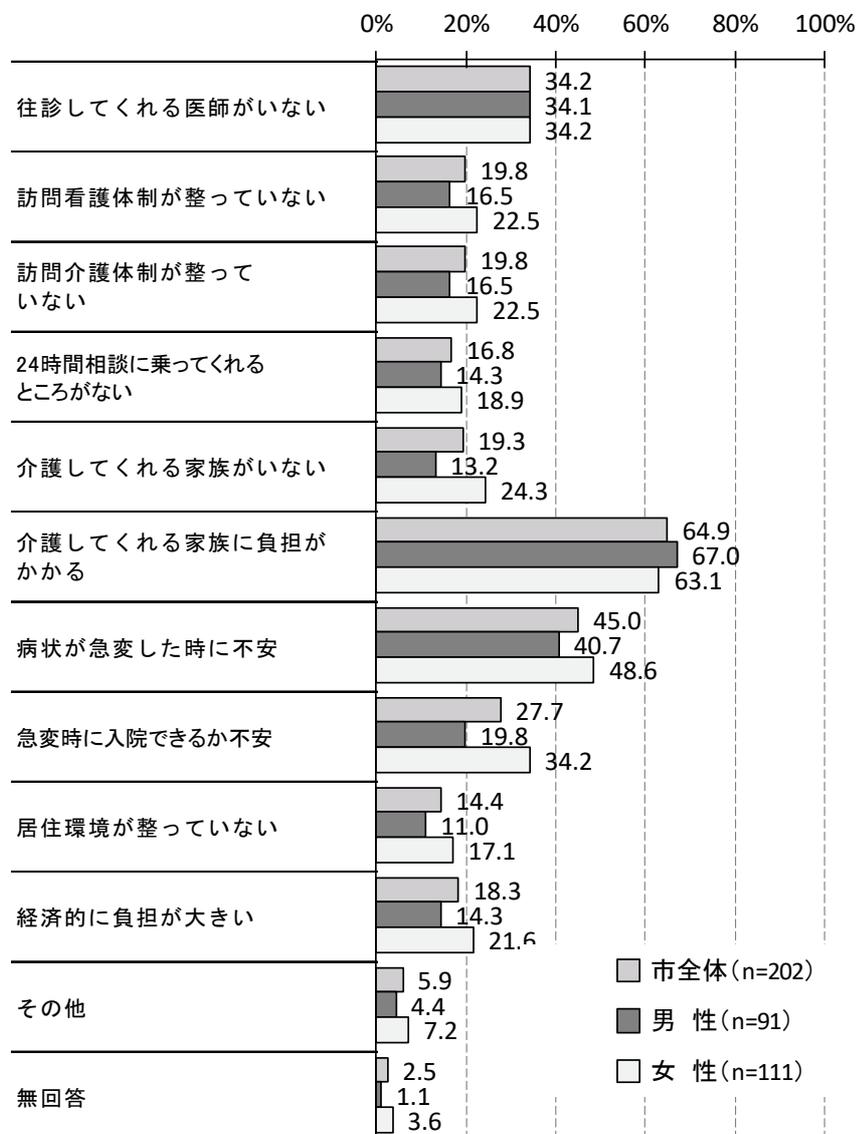
自宅で最期を迎えることができないと考える理由

【(1) -① において「2. いいえ」に○をつけた方にうかがいます。】

(1) -② あなたが自宅で最期を迎えることができないと考える理由を教えてください
(○はいくつでも)

性別に関わらず、「介護してくれる家族に負担がかかる」の割合が最も高い。
性別にみると、女性では男性より「急変時に入院できるか不安」が14.4ポイント、「介護してくれる家族がいない」が11.1ポイント高くなっている。
前年と比較して、全体では「24時間相談に乗ってくれるところがない」が12.3ポイント増加している。

図表 10.1.2 自宅で最期を迎えることができないと考える理由（全体・性別）

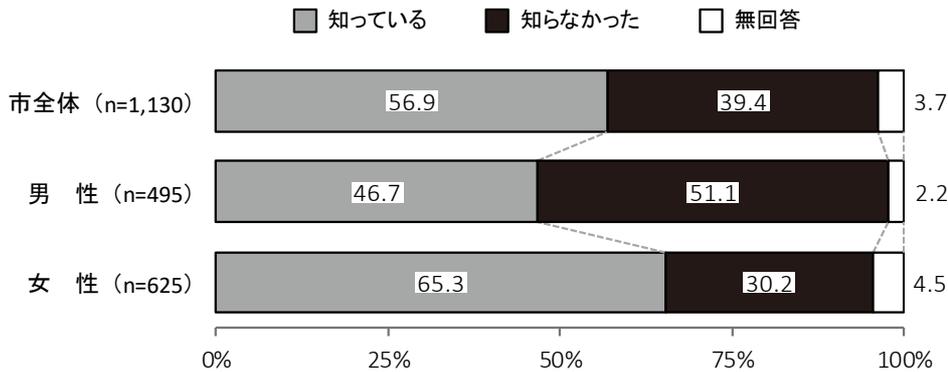


地域包括支援センターの認知度

(2) あなたは「地域包括支援センター」を知っていますか

前年と比較して、全体では「知っている」が4.8ポイント減少している。

図表 10.2 地域包括支援センターの認知度（全体・性別）

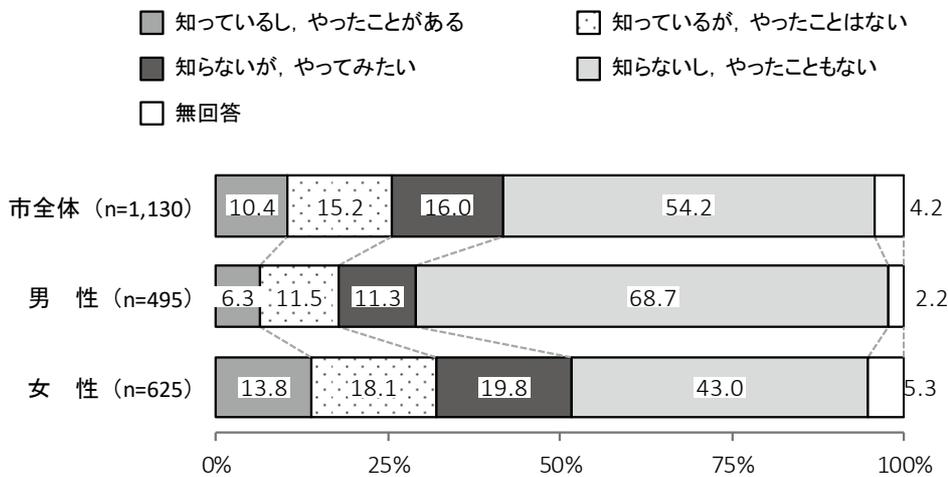


10の筋力トレーニングの認知度

(3) あなたは介護予防体操「10の筋力トレーニング」を知っていますか

全体では『知っている』の割合が25.6%になっていて、前年と比較すると0.9ポイント増加している。
性別にみると、男性では『知らない』の割合が80.0%と、女性より17.2ポイント高くなっている。

図表 10.3 10の筋力トレーニングの認知度（全体・性別）

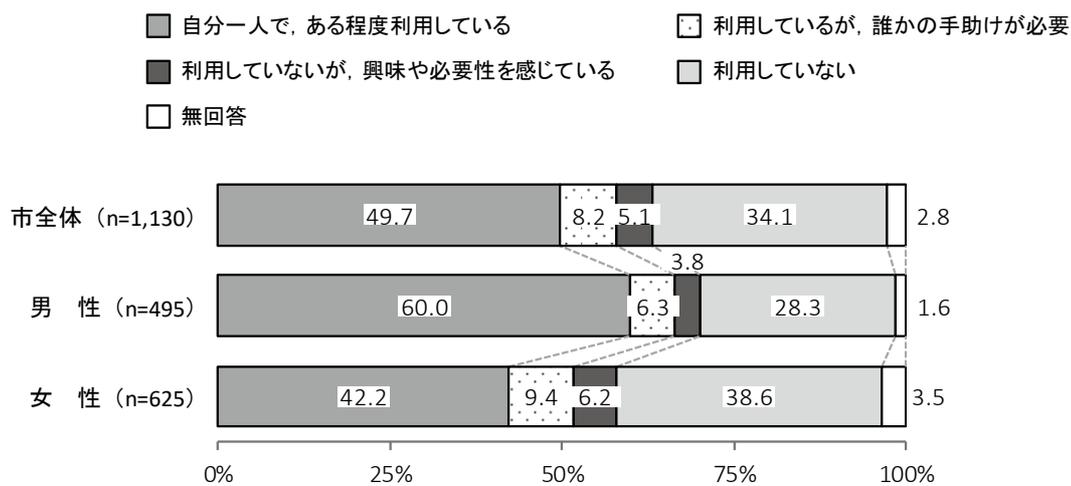


インターネットの利用状況

(4) パソコン, スマホ, タブレット等を用いて, インターネットを利用していますか
(○は1つ)

全体では『利用している』の割合が57.9%となっている。
性別にみると, 男性では『利用している』が女性より14.7ポイント高くなっている。

図表 10.4 インターネットの利用状況 (全体・性別)



インターネットの利用頻度

【(4) において「1. 自分一人で、ある程度利用している」「2. 利用しているが、誰かの手助けが必要」に○をつけた方にうかがいます。】

(4) -① 以下の利用頻度を教えてください（それぞれ○は1つ）

全体では『週1回以上利用』で、②スマートフォンの利用が77.4%となっている。
性別にみると、②スマートフォンと③タブレットでは男女差は小さいが、①パソコンでは女性の「持っていない」が男性より15.0ポイント高い。

図表 10.4.1 インターネットの利用頻度（全体・性別）

(%)

		利用している ほぼ毎日、	週に3〜5回、	週に1・2回、	月に1・2回、	月に1回未満	持っていない	無回答
① パソコン	市全体 (n=655)	37.3	8.9	6.9	5.5	8.4	15.9	17.3
	男性 (n=495)	54.6	9.8	7.6	4.9	5.2	8.5	9.5
	女性 (n=323)	20.1	8.0	6.2	6.2	11.1	23.5	24.8
② スマートフォン	市全体	69.9	4.6	2.9	3.1	0.6	11.3	7.6
	男性	69.5	4.0	3.0	1.5	0.6	14.6	6.7
	女性	70.9	5.3	2.8	4.6	0.6	8.0	7.7
③ タブレット	市全体	12.5	3.4	2.7	2.3	4.3	46.9	27.9
	男性	12.8	3.7	2.7	2.4	4.0	50.6	23.8
	女性	12.4	2.8	2.5	2.2	4.6	43.7	31.9

インターネットを利用していない理由

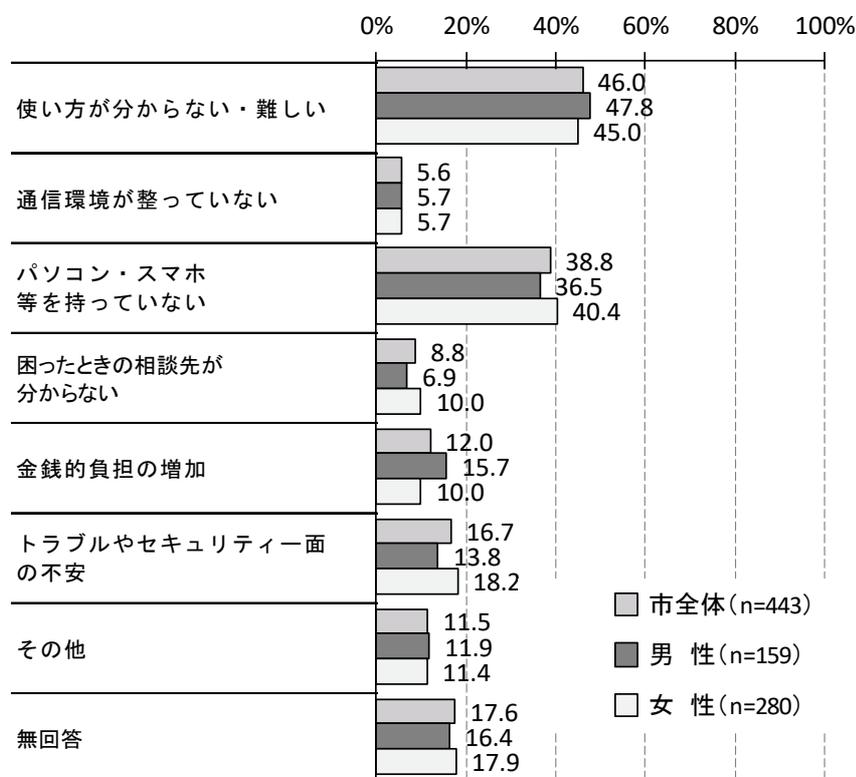
【(4) において「3. 利用していないが、興味や必要性を感じている」「4. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。】

(4) -② 利用するに至らない理由を教えてください (○はいくつでも)

性別に関わらず、「使い方が分からない・難しい」の割合が46.0%と最も高く、次いで「パソコン・スマホ等を持っていない」が38.8%となっている。

性別にみると、男性では「金銭的負担の増加」が女性より5.7ポイント高い。

図表 10.4.2 インターネットを利用していない理由 (全体・性別)

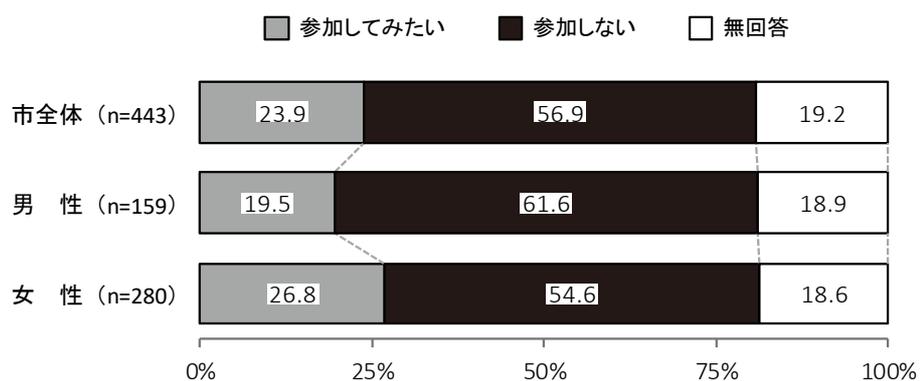


スマホやアプリの使い方講座への参加意向

【(4)において「3. 利用していないが、興味や必要性を感じている」「4. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。】

(4)－③ スマホやアプリ（例：ライン、zoom）などの使い方講座があれば参加してみたいですか（○は1つ）

図表 10.4.3 スマホやアプリの使い方講座への参加意向（全体・性別）



高齢者福祉や介護保険制度への意見

- (5) 調布市の高齢者福祉や介護保険制度などについて、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

256件の回答があった。以下、主なものを記載する。

①情報提供：41件

- 包括的な制度や行政窓口については、様々な情報より把握していますが、実際に自分が該当者になったときの内容については、わずかです。浅くてもよいですので、一つ一つの例題等を示していただける情報（調布市としての）があればと考えます。
- 「10のトレーニングを市として推奨している」とあるが、どのように推奨しているのか。私は今までこのような推奨を受けたこともないし、聞いたこともない。
- 実際に困ったとき、ケアマネジャーに相談すればわかることですが、例えばデイサービスでどのような活動に参加できるのか、一覧表でもあれば、「こんなものならやってみたい」と思うものが見つかるかもしれません。一人になってしまったら、掃除や買い物の援助だけでなく、そういう場所がほしいと思います。ご主人に先立たれ一人になった友達を見ていて感じます。
- 今は元気で毎日過ごしておりますが、急に体調に異変がおきた時、友人は同年代で頼りにできないため、民生委員にすがってもよいものかと気にしています。
- 勉強不足で何も書くことができず、申し訳ありません。介護予防体操「10の筋力トレーニング」冊子があれば、高齢者に配布していただけると嬉しいです。
- 制度そのものを実感していないため、ほとんど知らない。予備知識があれば、万が一の時に速やかに対応できると思う。市報も直近の必要なものだけを拾う習慣になってしまってる。少しずつ意識したいと思う。
- 私は、パソコン、スマホ等持っていません。主人も同様です。来年3月頃までにはスマホに替えなければいけないかとも考えていますが、使い切れるかどうかと思います。ガラケーでさえ使いこなせない状態の中で。ただ、今の世の中に残されるとは思いますが。自分独自の運動はしています。

②介護保険：52件

- 昨年夫を見送った経験者です。長い間認知症の夫に寄り添って暮らしました。終わりの頃、施設でお世話になったのですが、費用のやりくりで苦労しました。特養も病气（胃がん、脳血栓）の既往症のある者は許否され、行き場を失いました。今後ますます入所が難しくなる不安を感じています。
- 現在83歳で、福祉や介護保険のお世話にならないように心掛けているつもりです。必要な人に手厚い支援をしていただきたいと思っています。私も介護保険制度が始まる前15年程ヘルパーに参加していました。とても充実した時間を過ごさせてもらいました。現在、これらの活動にかかわっている方々に万全の保障をしてあげてください。よろしく申し上げます。
- 介護保険制度を利用しない人は、それなりに家族に迷惑をかけないよう、社会に御迷惑をかけないよう、自分なりに努力しているつもりです。保険料を支払うばかりで、何の見返りもありません。いつかお世話になるかもしれないからと我慢はしていますが、自身の体を維持するための金銭的な支出もあるわけですから、介護保険制度の利用、保険料の割引、何割かの返金があってもよいのではないかと思います。そうすれば公平で「取られ損」感はないと考えます。よろしくお願い致します。

- 介護保険料金が高く感じます。国の問題ではありますが、もう少し安い料金だと助かります。
- 高齢者から高いお金を取らないでほしい。年金額が少なく介護保険料が高額のため支払いをするために働いています。
- 私が後期高齢者になったとき、介護制度がしっかりと維持されているかどうか疑問です。団塊の世代である我々が、これまで制度を財政的に支えてきたが、切り捨てられてしまうのではないかという不安がある。財政面だけでなく、介護人材の育成など、疑問の点が多々ある。
- 今は健康なので介護保険は高いと思うが、これも社会貢献の一つと考えている。
- 介護保険制度はほぼ満足している。夫が大変お世話になり助かっている。
- 介護保険料が65歳からは早い。70歳からでよいと思う。
- おハガキ送付くださりましてありがとうございました。現在要支援1で、筋力回復転倒予防を目的としたトレーニング中です。これからも介護保険制度のお世話になっていきたいと思っています。
- まだ元気しておりますので、実感がありませんし実情もわかりません。自分としては自宅で静かに終わりたいと思っていますが先はわかりません。今は訪問介護の充実をお願いしたいです。
- 今どの介護施設でも介護職員の人手不足であり、先行き介護サービスが適切に受けられるかどうか心配です。

③福祉サービス：39件

- 健康は自己責任、自己管理と思っています。高齢になるのに伴い、体調の不具合が起きてくるものです。体は食べ物、栄養からできていますので、ちょっとした不具合であれば、栄養相談で対応できると思いますので、気軽な相談窓口があるとよいと思います。あるいは情報交換会など。
- 深大寺東、北地区は調布の行政機関から遠いため、いろいろなサービスが受けにくい地域である。サービスを受けやすくする施策が不足しているので何らかの対策が必要である。
- 他市に比べ、認知対応策等（機器の無料配布等）遅れていると感じる。
- 自宅で1人になっても気楽に生活ができることが1番の願いだと思います。そのための助けの制度をしっかり考えていただきたいと思います。人それぞれなので、あまりきまりを決めないで、その人に合った助けがなによりです。
- 調布市では高齢者福祉には力を入れていることは知っています。参加することは自分の行動することですから気持次第です。その気になってもらいたいです。
- 母を介護していたときにお世話になりましたが、自分が必要となったときに同じようなサービスが受けられるか、少し不安です。
- 困った時に民生委員に相談することは聞いていますが、顔見知りでない人に相談をするのは、なかなか難しいのではないのでしょうか。委員の人が、年1～2回でも、1人暮らし、問題のあるらしい人等、情報はつかんでいると思うので、訪問（声かけ）をしたら、相談しやすいのではないのでしょうか。
- 現在においてもスマホがないと生活をしていけない状態で、今年春から始めましたが、一人住まいなので相談する方がいたら、また市の方で高齢者用のスマホ教室を開いて、指導してほしいです。利用できるまでには、時間と費用と気力が伴いますのでそれに日一日と老化の方が進んで毎日戦いのようです。便利ですが慣れるまでストレスとの毎日です。一日も早くお願いします。
- スマホやアプリの使い方講座があれば、そして私の家からの交通の便が良ければ、是非参加したい、勉強したいと思っています。10の筋力トレーニングも知らなかったが是非やってみたい。

④将来への不安等：17件

- ・今現在は心配ないが、認知症になったときどうしたらよいか、心配です。集立ち会、スタッフに相談します。
- ・何度か出しておりますが、再度書くことですが（何の返答もありません）コロナで家にいて、誰とも話しすることなく、お会いできず、ここまで短い人生は本当に不安です。年月は待つはくれません。寂しく悲しいです。残り少ない人生、もう1度花を咲かせたい。今は目の見えない息子と二人三脚で暮らしております。どうかお力をください。よろしく願いいたします。
- ・自分のこと（特に健康に関して）を知っている人が近くにいれば安心なのに、といつも感じています。独居者は見放されているような感じがします。
- ・昨夏、ときわぎ国領の方に相談にのっていただきました。先行きが見通せない不安の中、丁寧に説明していただきありがたかったです。いろいろな制度があるのにほっとしました。ただ、これから75歳以上の保険料も上がるなどのニュースを見ると、長く続く療養、介護が心配です（金銭面）。自分の身におこって、いろいろな制度の大切さ、ありがたさがわかりました。今後も充実をめざして願います。
- ・今は体が動くけど、自分になにかあったときは、だれも面倒を見てくれる人がいません。主人は透析と心臓が悪く、食事の用意と薬他なにもできません。私が倒れたら家は終わりです。その時に主人の面倒を見てくれる人が必要になります。ケアマネジャー以外どこに相談したらよいか不安です。

⑤地域包括支援センター：8件

- ・地域包括支援センターを利用したいが、月1度の家族負担、家庭訪問が、面倒だから利用したくても利用しにくい。何とかならないものか。本当に面倒くさい。
- ・休日に緊急性（高齢者）のあることを地域包括支援センターに電話しても現在全くつながらない状態で大変困りました。何かあったらすぐ電話と書いてあるのに。その時（最近）警察調布に連絡しました。地域包括支援センターの強化をしていただきたい。24時間365日いつでも相談ができるようにしてくれたらうれしい。

⑥地域活動、社会参加への支援：17件

- ・以前にボランティア「ちょこっとさん」に参加していましたが、いつの間にかボランティアの依頼が来なくなりました。多分年齢で切っているのかと（危ないから）思いますが、まだまだ元気でひとのために働けるのもったいないと思っています。一億総働き推進などと言っているのに、年だからというだけで依頼しないとしたら情けなく思います。年齢なりに働けることも多くあると思うのです。
- ・共用スペース等を本格的に充実していただきたい。趣味、体力づくりなど、現状よりももっと余裕のある「広場」「体育施設」「教室」「カフェ」「劇場」など。
- ・地域では介護の世話になる前のヤングオールドの人たちを「まとめ合う」近所を含む地域住民交流づくりが大事になっていると思う。そのような活動に市の支援、援助を手厚くする必要を感じます。
- ・ボランティアをしていますが、一人暮らしの高齢者、特に男性の居場所が少ないような気がします。「何のために生きているかわからない」というようなことを言う方も多く、何とかならないかと日頃感じています。
- ・健康で社会活動のできる高齢者に活躍の場を提供してほしい。シルバー人材活用センターがあるが、現状は肉体労働の紹介にすぎない。もっと知的な仕事のできる人材がいると思う。彼らを活用すれば経済的効果も、社会福祉費負担も軽減されると思います。現在のシルバー人材センターの紹介職種幅を広げることを望みます。

- ・高齢者が、野菜、花づくりを楽しむ場所があればと思ってます。その場所に行くこと、友達ができ、話もはずみ、足を運びたくなります。また、手づくり野菜で料理すれば味も違い、満足しています。手助けをしてくださる方も必要だと思ってます。ぜひ、長く使い続けられる場所をつくってほしいです。男女関係なく話ができます。

⑦入所・入居施設：6件

- ・認知症や老老介護に陥ったときに、即時に対応してもらえる施設等を充実させてほしい。
- ・特別養護高齢者ホームを市内に増やしてほしい。
- ・高齢者の人数が増えていく現状ですが、このアンケートで考えさせられることもありました。有料高齢者ホームはたくさんあるようですが、年金の範囲内で利用できるところは少ないように思いますので、ぜひその点にも取り組んでほしいです。生きている限り何事も自力でできるよう脳トレ、筋トレに励むつもりです。

⑧感謝：11件

- ・今は元気ですが、調布市の制度については充実しているので、安心して生活できています。感謝です。
- ・5月に104歳で母が亡くなりました。最後の一年程（それまでは元気で介護のお世話になりませんでした）訪問診療、訪問看護を受けました。皆様に良くしていただき、ありがたい制度だと感じました。
- ・特に意見等ありません。日常お仕事としてかわってくださる方々のご努力に感謝し、スタッフの方々の御健康をお祈りいたします。
- ・有資格で仕事をしております。その関係上もあり、先がみえない、または将来的に計画が立てられない面があります。不測の事態が起きた際は、どうぞご尽力いただきますよう、よろしくお願い致します。また、日頃のこうした高齢者へのご配慮に、見守りに感謝申し上げます。
- ・収入が年金等減収になっている高齢者にとって今年のインフルエンザ予防接種を無料にくださったことは感謝しています。市民全体の体力向上、体力保全を保っていることは明るい展望を市民に伝えていると思います。それが高齢者にも伝わっています。
- ・「石の上にも三年」という言葉がありますが、調布に転居して四年が過ぎ、夫の不幸により一人暮らしとなりました。介護制度のなかった時代の「嫁が看るのが当たり前」という時代の経験から考えますと、調布の現在の生活は本当にありがたいと感謝しております。民生委員、ケアマネジャーの方々にもご教示をいただくことが多々あり、何の不満も不安もなく、本当にありがとうございます。

⑨交通インフラや施設の充実：9件

- ・足腰が不自由で交通手段のない自分が自宅から離れるためには有料の交通機関を利用しなければできない。病院へも送迎ボランティアを利用している。近隣に利用施設があれば良い。ケアマネジャーもあまり来ない。忙しいのでしょう。
- ・深大寺東町地区を走っているミニバスが減便となり、市役所や「たづくり」に行くのが不便になりました。市は民間バスに対する補助金を増額し、ミニバスをもと通り増便してほしい（高齢者対策として最重要です）。
- ・公園などのトイレの設置。自然に集まれるスペースの設置。介護が必要となる前の階段へのアプローチが不足しているように思います。自分で歩けるのにトイレが心配で。チョットひと休みするスペースがない。オリンピックよりも大事なのではないでしょうか。

- ・引きこもりにならないように外出するには自分の足しかありません。ミニバスの充実も私どもはとても切実です。頭には山程書きたいことがありますが表現力がありません。表記の内容とはずれていますがお読みとりください。
- ・調布市役所まで行かなくてもよい、充実した図書館があると便利です。

⑩介護予防、健康づくり：9件

- ・市民（65歳以上）が使用できるスポーツジムがあると便利だと思います（格安で）。現在リハビリに通っておりいつまでも歩けるよう筋肉をつけたいです。
- ・病気になるためにはすべて意識して、食べること、体を動かすこと。無理をせず体を大事にすること、なるべく皆様にできるだけお世話にならないようがんばりたいと思います。私の母が百歳と5ヵ月元気です。
- ・土日、祭日朝30分くらい歩いています。たまには買い物に行った時に歩いています。家にいる時はスクワットや足を上げたりしております。
- ・高齢者とひと口で言っても様々で、突然高齢になるわけではないので、もう少し前の段階から考える必要があるのではないかと思う。年代を越えた交流というのも大切ではないか。

⑪医療：2件

- ・調布市に保健所を。病状が悪くなった時、すぐに入院できるようにお願いします。
- ・母の介護の関係で数年間お世話になりました。私自身に関しましては未だ現実的にはお世話にならずにすむ状況ですが、年齢的に当然近い将来向き合わなければならない問題です。いざというときに混乱することのないよう臨もうと思います。このアンケートの趣旨から外れることかもしれませんが、母の訪問医療を利用した際の病院の対処の仕方に、とても冷たいものを感じました。診療費用だけ事務的に引き落とされ不安でした。相談、診察に関して心がなかったです。

⑫アンケート：24件

- ・無作為に選んでいると思いますが、介護度に応じたアンケートにしてほしい。
- ・このようなアンケートをうれしく思います。最近まで仕事をしておりまして、27年間仕事をしていたので、いまだに今の生活に慣れません。何か自分のためになる事があるとよいといつも思っています。お隣、ご近所の方とは2人ほど立ち話ができる人はおりますのが幸いです。
- ・こういうアンケートも、PC、スマホでやってもよいと思う。まだ対応できる人は少ないとは思いますが、手書き、画面、両方でやってもよいのでは。
- ・設問に〇は1つだけという規定が多かりましたが、それでは的確な答えが出せないと思うことがありました。質問の文章、解答の選択肢についてもっと推敲を望みます。高齢者の仲間入りをし、これからいろいろお世話になることと存じます。どうぞきめの細かい政策を立案していただき、安心できる市民生活が送れますようよろしくお願いします。
- ・このアンケートで、自分のことを考えて具体的に考えていくことをつくづく思いました。1つ1つ目の前のことから考えて実際に進めていこうと思いました。本当にありがとうございました。
- ・この度のアンケート、問は10問かもしれないが、その下の質問が多すぎて疲れる。途中でやめたいくらいでした。

- アンケートと文面で高齢であると自分で自覚が多少なりともできて良かったです。改めてしっかり考えます。
- 今現在 69 歳ですが、高齢者福祉、介護保険等使用していないので実感がないため、何をどうだとかこうしてほしいと言うことが見つかりません。

⑬その他：21 件

- 息子（長男）についてのこれからは社協、障害福祉課、調布だゾー作業所と話し合っています。それが決まってから自分のことと思って来ましたが、体力がついていかない日々を思うと前向きに自分の今後を考えていきたい。今年はそのように前向きに行きたい。次男は海外駐在中です。私の今の思いです。
- 特に不満はありません。最近調布市では子どもの姿が多くなりましたので、楽しみです。高齢福祉も大事ですが、ぜひ子育ての施策を推進していただければありがたいと思っております。今回の調査につきましては現在仕事に従事していること、健康に不安がなかったことで、またコロナウイルスの予防がありましたので、通常の調査回答と異なる部分がありましたので、申し訳ありません。よろしく願いいたします。
- 調布市は飛行機墜落事故、道路の陥没事故と最近悪いイメージばかり。提案です。1年間まったく医療機関にかからなかったら報奨金を出す。調布市の名が全国的に報道され、ふるさと納税が増えるかも。私は、自慢ではないですが、平成 26 年 5 月以降一度も医療機関にかかっていません。常に節制しています。
- 平成 24 年に兄が居住する神代団地に転入して来ましたが、現在友人と呼べる人に出会っておりません。また、兄が 3 年前に高齢者施設に入所したため（現在はコロナのため面会不可）、何とか 1 人でがんばっております。

資料編

資料編

調布市 介護予防・日常生活 圏域二一ス調査

【調査についてのおお願い】

市民の皆さまには日頃から市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

この調査は、高齢になっても安心して住み続けられるつながりのある地域づくりと、誰もが生きがいを持って元気に暮らせる社会の実現を目指す「調布市高齢者総合計画」の策定・進捗管理に活用するため、皆様の健康や生活の様子、ご意見・ご要望を幅広くお聴きするために実施するものです。

ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和2年12月

調布市長 長友 貴樹

記入日	令和	年	月	日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。				
1. あて名のご本人が記入				
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみられた姓柄)				
3. その他				

個人情報取扱について

個人情報のお取り扱いおよび活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたこととさせていただきます。

【個人情報の取扱いおよび活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防施策を始めとする高齢者施策等の立案と効果測定のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、「調布市高齢者総合計画」策定・進捗管理の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、調布市で適切に管理いたします。
- ただし、本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。なお、氏名等の個人の特定につながる情報を登録、公表することはありません。

ご記入にあたってのお願い

- 調査票のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。
- 調査票の設問中の「あなた」とは、調査票のあて名の方を指します。なお、ご本人が回答困難な場合、入院中などの場合は、ご家族や周りの方がお手伝いください。あて名のご本人のご意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。
- 濃い鉛筆又はボールペンで記入してください。
- お答えいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
- の場合は回答内容を記入してください。
- 「その他」に○印をつけられた方は、() がある場合には、その中に具体的な答えを記入してください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

調布市 福祉健康部 高齢者支援室 計画係
電話：042-481-7149

【返送期限】 令和3年1月22日(金)

同封の返信用封筒（切手不要）に入れてご返送ください。

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

1. とても不安である 2. やや不安である
3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回
3. 週2~4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)

1. とても減っている 2. 減っている
3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)に○をつけた方にうかがいます。】
(8) -① 外出を控えている理由は、次のどれですか (○はいくつでも)

1. 病氣 2. 障害 (脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配 (失禁など)
5. 耳の障害 (聞こえの問題など) 6. 目の障害
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない 10. その他 ()

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)

1. 徒歩 2. 自転車
3. バイク 4. 自動車 (自分で運転)
5. 自動車 (人に乗せてもらう) 6. 電車
7. 路線バス 8. 病院や施設のバス
9. 車いす 10. 電動車いす (カート)
11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー
13. その他 ()

問4 食べることについて

(1) 身長・体重 (数字を記入)

身長 cm 体重 kg

(2) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(4) お茶や汁物等でむせることがありますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(5) 口の渇きが気になりますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(6) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(7) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○は1つ)

1. 自分の歯は20本以上、 かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は20本以上、 入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、 かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は19本以下、 入れ歯の利用なし

【(7)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」に○をつけた方にうかがいます。】

(7) - ① 毎日入れ歯の手入れをしていますか (○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(8) 噛み合わせは良いですか (○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(9) どれだけと食事をもつにする機会はありますか (○は1つ)

1. 毎日ある	2. 週に回数がある	3. 月に回数がある
4. 年に回数がある	5. ほとんどない	

(10) 食事の確保に下記サービスを利用していますか (それぞれ○は1つ)

	利用している	利用している	利用しているが、興味を興じていない	利用していない
① 弁当の配達サービス	1	2	3	4
② 出前・デリバリーサービス	1	2	3	4
③ 食材の宅配サービス	1	2	3	4
④ コンビニエンスストア	1	2	3	4

問5 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(2) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると云われますか (○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(3) 市が発信する情報をどのように入手していますか (○はいくつでも)

1. パソコン (インターネット)	2. スマートフォン (インターネット)
3. SNS	4. 市報ちょうふ
5. ちょうふFM	6. TV広報ちょうふ
7. チャラシ	8. 友人・知人
9. その他 ()	

(4) 今日が月何日かわからない時がありますか (○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(5) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○は1つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(6) 日頃外出する際、どこまで出かけることが多いですか (それぞれ○は1つ)

	住まい から15分 以内	市内	東京市 内を除く	東京都 外
① 買い物	1	2	3	4
② 趣味・習い事	1	2	3	4
③ かかりつけ医等の病院	1	2	3	4

(6) ①～③ 外出する際、何を使って移動しますか (それぞれ○は1つ)

	徒歩	自転車	自家用車	(公電 交通機関)	その他 (タクシーなど)
① 買い物	1	2	3	4	5
② 趣味・習い事	1	2	3	4	5
③ かかりつけ医等の病院	1	2	3	4	5

(7) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(8) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(9) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(10) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(11) 友人の家を訪ねていますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(12) 家族や友人の相談にのっていますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(13) 趣味はありますか (○は1つ)

1. 趣味あり → (具体的に:)
2. 思いつかない

(14) 生きがいがありますか (○は1つ)

1. 生きがいあり → (具体的に:)
2. 思いつかない

【(14) で「生きがいあり」に○をつけた方にかかっています。】

(14) ①～④ その生きがいをどのように見つけましたか。ご自由にご記入ください。

問6 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか

※①～⑥それぞれに回答してください (それぞれ○は1つ)

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 10の筋力トレーニングなどの 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に**参加者**として参加してみたいと思いますか (○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に**企画・運営 (お世話役)**として参加してみたいと思いますか (○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

(4) 以下の中に参加したいと思うものがありますか (○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 仲間づくりのための交流活動
2. 趣味、教養、生きがい活動
3. 健康や健康維持を目的とした運動系の活動
4. 転倒予防や筋力回復を目的としたトレーニング
5. 記憶力、学習能力や創造性などの知的能力の維持・向上を目的とした活動
6. 食生活の改善を目的とした調理や食事に関連する活動
7. 食べる機能の向上を目的とした口の体操や口腔ケアなど
8. その他 ()
9. ない |
|---|

問7 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

(1) あなたの心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてくれる人 (○はいくつでも)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてあげる人 (○はいくつでも)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (○はいくつでも)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (○はいくつでも)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 地域包括支援センター・役所・役場 | 6. その他 () |
| 7. そのような人はいない | |

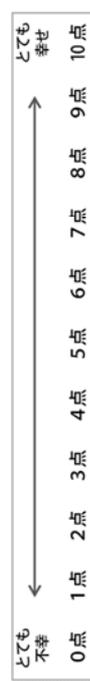
問8 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

- | | |
|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい |
| 3. あまりよくない | 4. よくない |

(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をご記入ください)



(2) あなたは「地域包括支援センター」を知っていますか

※「地域包括支援センター」は、高齢者の方やそのご家族が、地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口です。電話による相談のほか、状況に応じて職員が自宅に訪問することもでき、必要に応じて適切な専門機関をご案内します。(〇は1つ)

- 1. 知っている
- 2. 知らなかった

(3) あなたは介護予防体操「10の筋力トレーニング」を知っていますか

※「10の筋力トレーニング」は脚布市において、介護予防を目的に推進している体操です。日常生活に応じた筋肉を10種類の体操で鍛えることができます。(〇は1つ)

- 1. 知っているし、やったことがある
- 2. 知っているが、やったことはない
- 3. 知らないが、やってみたい
- 4. 知らないし、やったこともない

(4) パソコン、スマホ、タブレット等を用いて、インターネットを利用していますか(〇は1つ)

- 1. 自分一人で、ある程度利用している
- 2. 利用しているが、誰かの手助けが必要
- 3. 利用していないが、興味や必要性を感じている
- 4. 利用していない

【(4)において「1. 自分一人で、ある程度利用している」「2. 利用しているが、誰かの手助けが必要」に〇をつけた方にかかいます。】

(4) -① 以下の利用頻度を教えてください(それぞれ〇は1つ)

利用している	利用している回数	月に1～2回	月に1回未満	持っていない		
① パソコン	1	2	3	4	5	6
② スマートフォン	1	2	3	4	5	6
③ タブレット	1	2	3	4	5	6

【(4)において「3. 利用していないが、興味や必要性を感じている」「4. 利用していない」に〇をつけた方にかかいます。】

(4) -② 利用するに至らない理由を教えてください(〇はいくつでも)

- 1. 使い方が分からない・難しい
- 2. 通信環境が整っていない
- 3. パソコン・スマホ等を持っていない
- 4. 困ったときの相談先が分からない
- 5. 金銭的負担の増加
- 6. トラブルやセキュリティ面の不安
- 7. その他()

【(4)において「3. 利用していないが、興味や必要性を感じている」「4. 利用していない」に〇をつけた方にかかいます。】

(4) -③ スマホやアプリ(例:ライン、zoom)などの使い方講座があれば参加していただけますか(〇は1つ)

- 1. 参加してみたい
- 2. 参加しない

(5) 脚布市の高齢者福祉や介護保険制度などについて、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、いま一度お確かめください。

アンケートは、同封の返信用封筒に入れ、

1月22日(金)までに ポストへ投函してください。

刊行物番号

2020 — 241

令和2年度 調布市介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

報告書

発行 令和3年3月

発行者 調布市 福祉健康部 高齢者支援室

〒182-8511 調布市小島町2丁目35番1

電話 042-481-7149 (直通)